

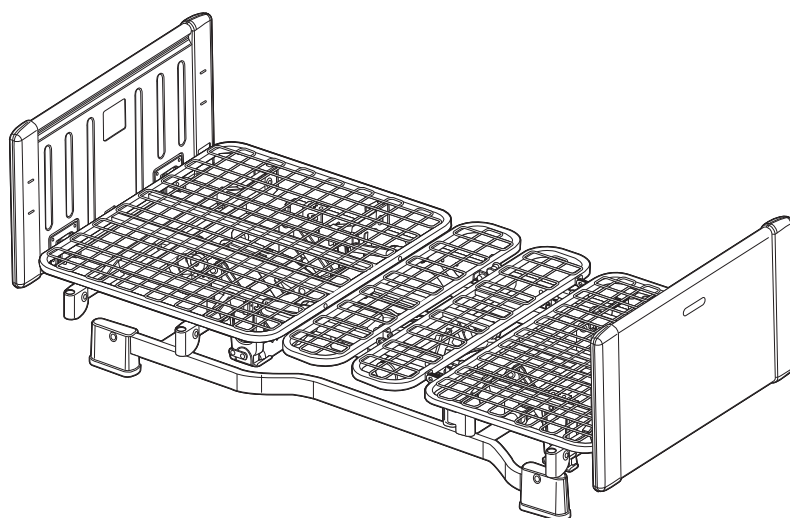
取扱説明書

在宅介護用ベッド

ミオレット

MioLet II

KHAI



この度は在宅介護用ベッド「P106シリーズ
ミオレットⅡ KHAI」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この「取扱説明書」は、組み立て・ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願い致します。

2 モーターベッド

90 cm幅：P106-2K シリーズ

3 モーターベッド

90 cm幅：P106-3K シリーズ

- 介助が必要な方がお使いになる場合は、介助する方も必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。
- 商品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書もお一緒にお渡しください。
- お買い上げの商品は、改良などにより、この取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。

商品名
型 式

ミオレットⅡ KHAI(カイ)
P106

○ミオレットⅡ KHAⅠ（カイ）はご家庭での介助をおこなうことを目的として作られたベッドです。ミオレットⅡ KHAⅠ（カイ）には次のような特長があります。



背上げ

●起き上がり動作を支援します。



手元スイッチの使いかた
P23



ひざ上げ

●リクライニング時の身体のずれを防ぎます。
また、下肢の姿勢を調整します。



手元スイッチの使いかた
P23



高さ調節

●立ち上がり動作を支援します。
また、介助しやすい高さにベッドを調節します。



手元スイッチの使いかた
P23

●足側のサイドレール受けの1組が収納式で、車椅子への移乗を楽におこなうことができます。



各部のなまえとはたらき
P12

■使用目的・特長	1
■もくじ	2
■安全にご使用いただくために（ご使用前・ご使用上の警告と注意）	3～9
■ベッドの設置と移動について	10～11
■各部のなまえとはたらき	12

■開梱と部品の確認（1/5～5/5）	13～15
■ベッドの組み立てかた	16～22

■手元スイッチ	23
■ライジングモーション ◆目的	24
◆背あし連動 / 背のみの切り替え	25
■便利な使いかた	26
■マットレスストッパーの取り付けかた	27
■お手入れ・点検	28
■2モーターから3モーターへ / 3モーターから2モーターへ	29

■仕様について ◆2モーター	30
◆3モーター	31
■適合周辺機器	32
■パーツ組み合わせ	33
■レール類の組み合わせ	34
■停電時の背下げ操作方法	35～36
■故障について・保管について	37
■保証とアフターサービス	38



この取扱説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、利用者や他の方への危害や財産への被害を未然に防止するために、色々な絵表示をしております。下記をよくお読みいただき、内容をよく理解してから正しくお使いください。



この表示の欄は、生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容を記載しています。



この表示の欄は、傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示



禁止

してはいけない
「禁止」の内容です



気をつけていただきたい
「注意喚起」の内容です

ご使用前の警告と注意



ベッドの電源は、直接コンセントから取ってください。

- ・電源電圧は交流 100V でご使用ください。
- ・指定外の電源電圧や延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発火して火災の恐れがあります。



被災したベッドは電源プラグを抜き、使用前に販売店または弊社まで点検を依頼してください。

- ・電気部品のショートなどは、火災の原因となる恐れがあります。
- ・破損部品があると思わぬ怪我をする恐れがあります。



サイドレールとベッド用グリップ、サイドレール・ベッド用グリップとボードやボトムなどとの隙間に身体の一部が入らないよう注意してください。

- ・隙間にはさまれたり、怪我や事故の恐れがあります。



禁止

乳幼児やお子様には、使用しないでください。

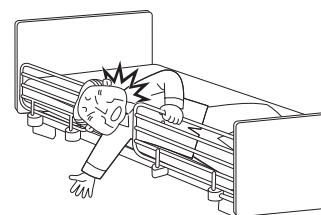
- ・本商品は、乳幼児やお子様向けには設計されていません。
- ・隙間にはさまれたり、怪我や事故の恐れがあります。



禁止

他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないでください。

- ・危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になる恐れがあります。



⚠ ご使用前の警告と注意

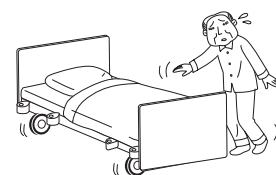


禁止

キャスターを付けた場合、ロックを解除した状態で放置しないでください。

掃除の際など移動した後は必ずロックしてください。

- ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。



キャスターは必ず固定



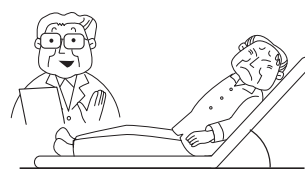
ご使用になられる前に、各部のピン・ボルトが確実に固定されているか、ご確認ください。

- ピンやボルトが緩んでいると、ご使用中にパーツが外れたりすることも考えられ事故の原因になる恐れがあります。



治療中の方やペースメーカーご使用の方は医師に相談してください。

- ベッドの操作が、症状を悪化させる可能性があります。
- 医師、看護師の指導に従ってください。
- 背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させることがあります。



ベッドと壁や周りのものに、はさまれないように注意してください。

- 体の一部がはさまれると怪我をする恐れがあります。

⚠ ご使用上の警告と注意



ご自身での操作が困難な方がベッドを使われる場合、付添いの方がベッド操作をしてください。怪我や事故の原因となる恐れがあります。

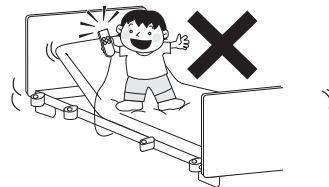
- ご家族に小さなお子様がいる場合、ベッドを使用しない場合は電源プラグを抜いてください。ベッドで遊んで事故や怪我を起こす恐れがあります。



禁止

ベッドの上に立ったり、立った状態で手元スイッチの操作をしないでください。

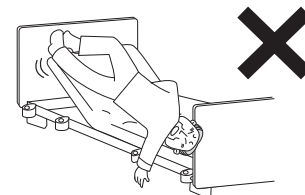
- 転倒などにより怪我や事故の原因になる恐れがあります。



禁止

ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態でのご使用はしないでください。

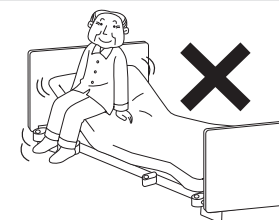
- 背骨を痛めるなど怪我や事故の原因になる恐れがあります。



禁止

「上がっている背やひざ脚ボトムの上に乗る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為は絶対にしないでください。

- 怪我や事故、ベッド破損の原因になる恐れがあります。





⚠ ご使用上の警告と注意



禁止

モーターの長時間連続使用（2分以上）はしないでください。

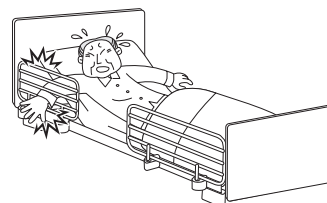
- ・内部の部品が破損したり、モーター内部が加熱し、温度ヒューズが破断したりして動かなくなる恐れがあります。
- ・動かなくなったら販売店にお問い合わせください。この場合は修理費が発生します。



禁止

サイドレール・ベッド用グリップを取り付けてご使用の際に、体の一部（頭、腕、脚）をサイドレール・ベッド用グリップの隙間に入れないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。安全に使用いただくために、サイドレール用安全カバーを別売りにてご用意しております。



禁止

電源プラグは濡れた手で触らないでください。

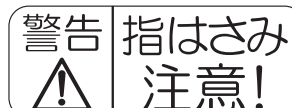
- ・感電する恐れがあります。



禁止

本体の「指はさみ注意」シールが貼られている周囲には手を置かないでください。

- ・骨折など、怪我をする恐れがあります。



介助者などがベッドから離れたり、利用者から一時的に目を離す際は、安全のためベッドの高さを最低位置にしてください。万一の転落の際にも、衝撃を軽減できます。



ベッドの中に他のケーブルを通す場合は、ベッドの部品間でケーブルを圧迫することの無いよう十分確認してください。



サイドレール、ベッド用グリップ（P32参照）を使用される場合、ベッドにきちんと挿し込まれ、しっかりと固定されているか定期的に確認してください。

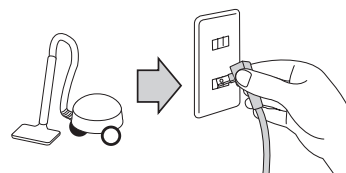
- ・ベッドの乗り降りなどの際に転倒し、怪我や骨折を起こす恐れがあります。
- ・ネジを紛失された場合、販売店にお問い合わせください。



禁止

掃除、点検などでベッド下に入る場合は必ず電源プラグを抜いてください。

- ・誤操作によりベッドにはさまれ重傷事故の恐れがあります。



禁止

各部の操作をする場合、フレームとボトムの間を手や指を入れないでください。

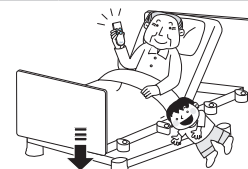
- ・骨折など、怪我や事故の原因になる恐れがあります。



禁止

ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れないでください。

- ・骨折など、はさまれて怪我をする恐れがあります。



⚠️ ご使用上の警告と注意



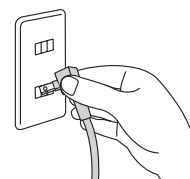
ベッドを水洗いしたり、モーターや手元スイッチに水などをこぼさないでください。

- ・ショートして故障、火災や感電の恐れがあります。
- ・誤作動の原因になる恐れがあります。



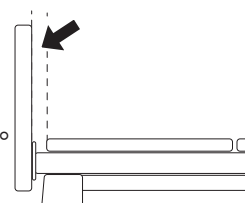
電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。

- ・断線・接触不良により、火災の原因、故障の原因になる恐れがあります。



ボードとボトムの間に空間があります。

介護する場合に足が入ることがありますのでご注意ください。



介護度が高い方や、背を上げたときに自分で体を保持できず体が斜めになる方の場合、ロングタイプのサイドレールかベッド用グリップを「レール類の組み合わせ」(P34)の図のように組み合わせてください。背を上げると支えがなくなり、ベッドから転落する危険性があります。



手元スイッチを使用しないときは、安全な場所にフックで掛けてください。

- ・誤ったボタン操作をされますと、怪我や事故の恐れがあります。



ベッドの背上げや高さ調節などの操作をするときは、ベッド利用者の状態に注意してください。

- ・ベッド操作中に、利用者が動くと怪我や事故の恐れがあります。
- ・自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。



電源へのモーターコード、電源コード、手元スイッチコードの挿し込みは、しっかり奥まで挿し込んでください。



禁止

利用者を乗せたままベッドを移動させないでください。

- ・キャスターやベッド本体が破損したり、利用者が転落したりする恐れがあります。



禁止

本体に貼ってあるシールは剥がさないでください。お客様を危険から守るためや故障時に素早い対応をするためのものです。

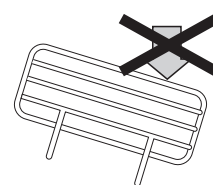
- ・ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。



禁止

サイドレールの端に体重を掛けしないでください。

- ・傾いて転倒する恐れがあります。
- ・過度の荷重を掛けると破損する可能性がありますので、立ち上がりに不安のある方は、このベッド指定の「ベッド用グリップ(P32 参照)」をご使用ください。





⚠ ご使用上の警告と注意



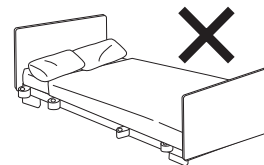
ベッド用グリップのスイング部で、足など人体の一部をはさむ可能性がありますので、開閉時やベッドの乗り降りの際にはご注意ください。



禁止

このベッドは1人専用のベッドです。ベッドを2人以上でご使用にならないでください。

リハビリをおこなう際、ベッドに座る際、勢いをつけて過度に荷重を掛けたりしないでください。



背ボトムのみ、脚ボトムのみに負荷を掛けた状態で、背上げやひざ上げなどのベッド操作をおこなわないでください。

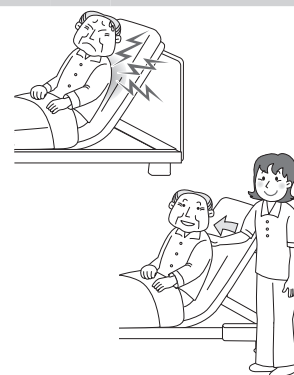
・怪我をしたり、ベッドが破損、変形する恐れがあります。



介助者の方へ

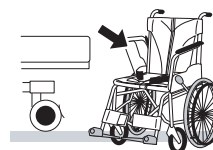
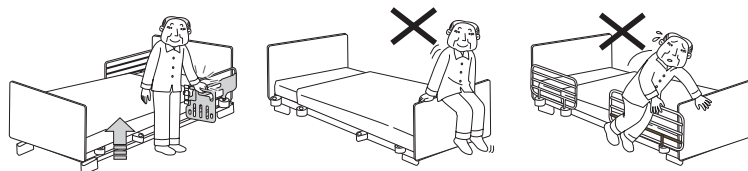
背ボトムを上げると寝ている人の背中全体に加圧（背圧）が生じ放置すると呼吸困難にもなります。これはどのベッドでも構造上避けることができない現象です。これを解消するために背上げが終わったときに、図のように背とマットの間に手を入れて背を起こし、背抜き（除圧）してあげてください。

・除圧しないと腰痛、床ずれが発生したり、場合により呼吸困難にもなります。



ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。必ず下記のことを守ってご使用ください。

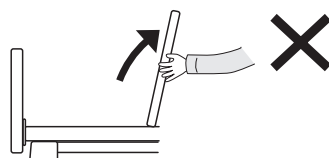
- ・ベッド横から乗り降りしてください。
- ・サイドレールをまたいだり、ヘッドボードやフットボードをまたいだりしないでください。
- ・睡眠薬を服用の際は、医師から指示された時間内にベッドから立ち上がることはしないでください。
- ・車椅子への移乗の際は、ベッド、車椅子のキャスターがロックされているかを確認して、乗り降りしてください。



禁止

背ボトムを無理に内側に倒さないでください。

・故障の原因になります。



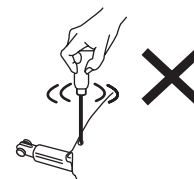
禁止

分解、修理、改造はしないでください。

・故障や感電の原因になります。



分解禁止



禁止

サイドテーブルを使用するときは、図のように体重を掛けないでください。

・転倒する恐れがあります。



⚠ ご使用上の警告と注意



禁止

ヘッドボードやフットボードに加湿器の吹出口の風を直接当てたり、濡れた衣類やタオルを掛けないでください。

- ・ヘッドボードやフットボードが変色、変形する恐れがあります。



禁止

ヘッドボードやフットボードに荷重を掛けて、リハビリなどをおこなわないでください。

- ・怪我や事故、破損の原因になる恐れがあります。



マットレスを設置しない状態でベッドを使用しないでください。

- ・ボトムの間隙などに手足の指などがはさまれて怪我をする恐れがあります。マットレスは、必ず指定のマットレスをご使用ください。(P32 参照) マットレスの上に布団などを重ねて使用しないでください。
- ・怪我や事故の原因になります。



マットレスがずれないように注意してください。マットレスがずれると危険な隙間が発生し、身体の一部が入り込む恐れがあります。

- ・付属のマットレスストッパーや適合するサイドレール (P32 参照) を取り付けることでマットレスのずれ防止になります。



下記の使用環境を守ってください。

- ・使用周囲温度：5℃～40℃
- ・相対湿度：20%～90% (結露なきこと)
- ・気圧：700hPa～1060hPa



モーター作動中にテレビなどにノイズが発生することがございます。予めご了承ください。



温熱治療器などベッドの上で電子治療器を使用される場合はベッドの電源プラグを抜いてください。



⚠ サイドテーブル使用時の注意

サイドテーブル (PZT-840、PT03 シリーズ) を固定脚で使用される場合は、ハイトスペーサー PC501-FU45 (別売り) を装着してください。



⚠ リフト使用時の注意

ベッドの下にリフトの脚を挿入し固定する種類があります。本ベッドは、脚部にハイトスペーサーを装着することで、高さ調節が可能です。使用されるリフトの種類により脚の高さが異なりますので、詳しくは販売店に確認してください。



⚠ 停電時の注意

停電時には、電源プラグをコンセントから抜いてください。停電時は電動操作ができませんが、復旧した場合は通常通りご使用できます。停電が長引き、かつ背上げしている状態では使用者の方が、腹部の圧迫により呼吸への悪影響がある場合があります。呼吸が苦しそうであれば、ベッドの使用を直ちに中止してください。「停電時の背下げ操作方法 (P35～P36)」もお読みください。





⚠ ご使用上の警告と注意

サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。



- サイドレールとサイドレール、ボードとサイドレールの隙間から転落し、怪我をする恐れがあります。
- サイドレールの上から身を乗り出して転落し、怪我をする恐れがあります。
- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
- ベッドの背を上げた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できない恐れがあります。
- 特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。



ボトムやボードなどの突起物に衣類などが絡まないように注意してください。

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、怪我をする恐れがあります。
- ベッドの乗り降りなどの際に転落して、怪我をする恐れがあります。

下記のシール類は特に注意していただきたい項目を記載しています。剥がしたり傷付けたりしないでください。



禁止

本体の「ピン・ロック忘れ防止」シールが貼られている箇所に、ロックプレートと割りピンを取り付けていない状態でベッドの操作をしないでください。

- 怪我や事故、ベッド破損の原因になる恐れがあります。



ピン忘れ・
ロック忘れ
危険！

ST0036



禁止

本体の「割りピン忘れ防止」シールが貼られている箇所には、確実に割りピンを取り付けてください。

- 背上げ動作時に背ボトムが不意に外れ、怪我や事故、ベッド破損の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

割りピン
忘れ危険！

ST0038



本体の「締め忘れ防止」シールが貼られている箇所には、確実にノブボルトでしっかり締め付けてください。

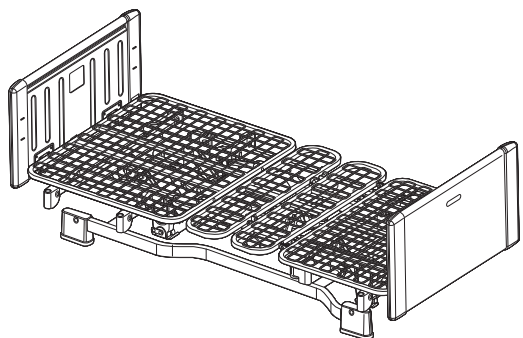
- ボルトが緩んでいると、ご使用中にパーツが外れたりすること考えられ誤作動や故障の原因となる恐れがあります。



しっかり締め付けて
ください

ST0037

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店にご相談いただくか、もしくは
本取扱説明書をご覧ください



必ず丈夫で水平な床に設置してください。

ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の体重（例：80 kg）を合わせると約 200 kg の総重量となります。この荷重に十分耐えられる水平な場所へ設置してください。

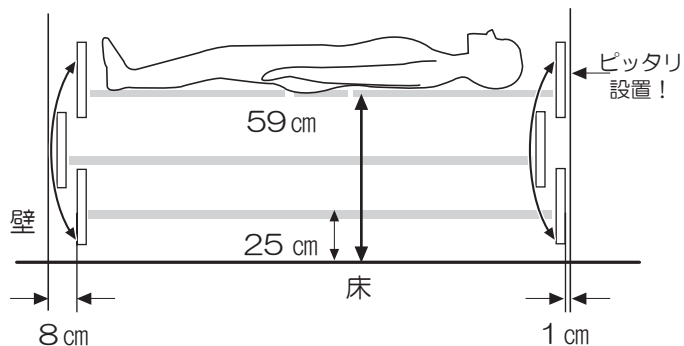
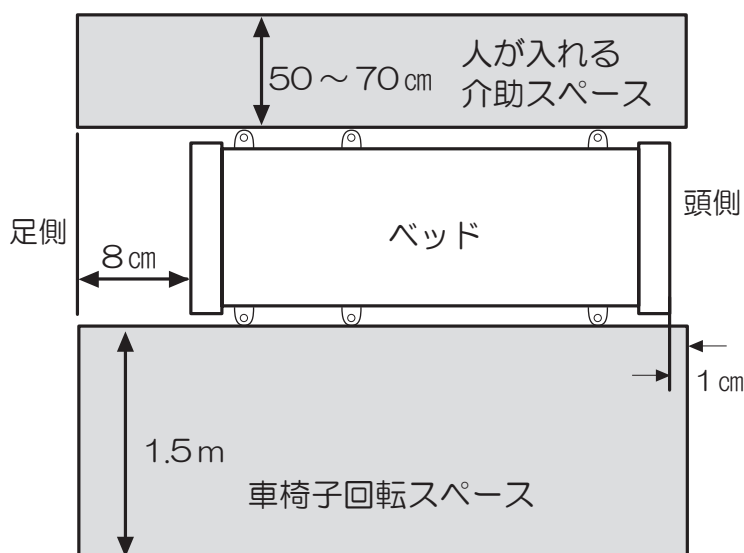
※最大使用者体重：138 kg

ベッドの滑り止めや床の傷防止のために、
ベッド専用のカーペット（PSC-1216SC）をおすすめします。

お願い

- ベッドの周りは出来るだけ広い空間を確保してください。
 - ・療養される方のベッドからの移乗や介護する場合のスペースを十分検討して設置してください。
- 昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにしてください。
- 昇降の際に足側に 8 cm 程度動きますので、物を置かないようにスペースを確保してください。
- 頭側は壁から 1 cm 以上のスペースをあけてください。
- ベッドの下に物を置かないでください。
 - ・昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあります危険です。

設置参考図



お願い



禁止

- ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないでください。
・機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



禁止

- 配線器具の定格を超える「たこ足配線」や表示された電圧(100V)以外の電圧では使用しないでください。
・火災やモーター故障の原因になります。



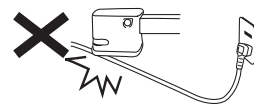
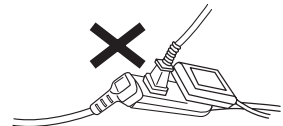
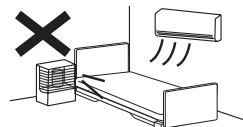
禁止

- 電源コードや手元スイッチのコードなどを、引っ張ったり、はさまないようにしてください。
・断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



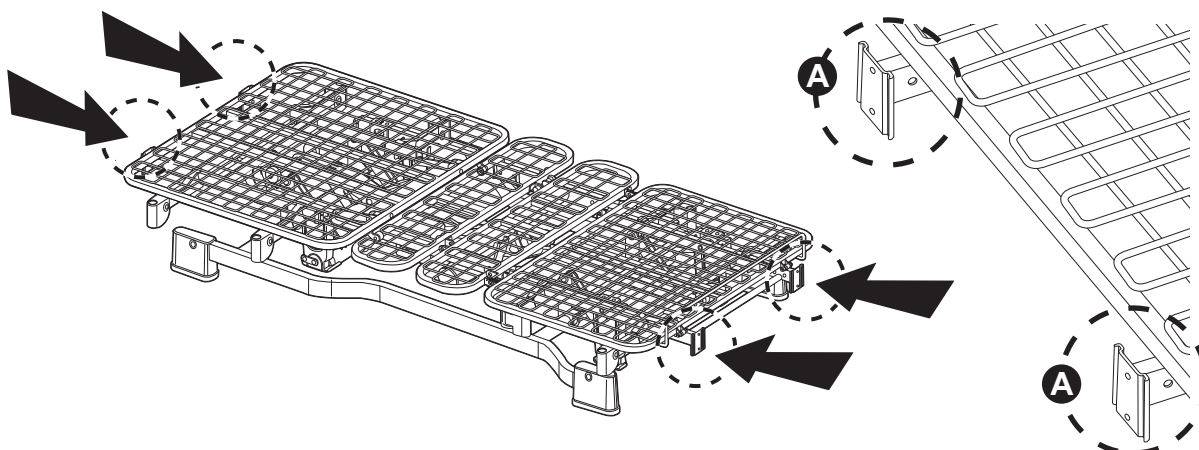
禁止

- 組み合わせるサイドレール、ベッド用グリップ(P34参照)の型式以外は使用しないでください。
・危険な隙間が発生し、腕や首、頭をはさむなど重大事故の原因になります。

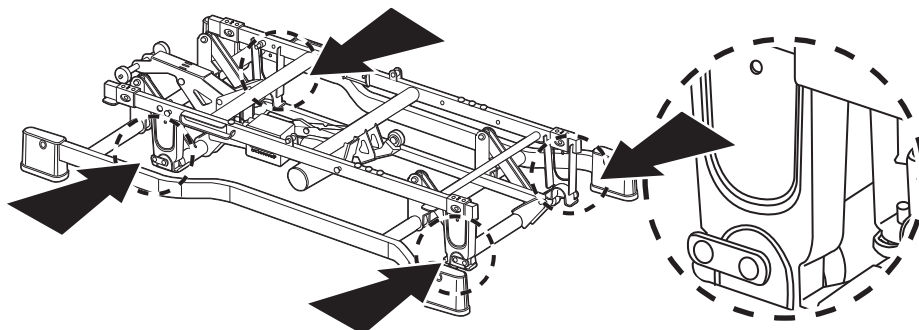


移動について

- 組み立てが終わった状態で移動する場合、下図のAの位置を持って移動してください。



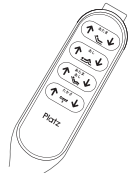
- ベッドは約80 kgあります。腰や背中などを痛めないよう、少なくとも4人以上で移動をおこなってください。
 - 移動前に必ずヘッドボードやフットボード、サイドレール、マットレスなどを外してください。
 - 電源プラグを抜き、手元スイッチのコードに注意してください。
 - 人が乗った状態で、移動をおこなわないでください。
 - 移動する前にピンが確実にハマっていることを、必ず確認してください。(P17参照)
- ※怪我、事故の原因になることがあります。



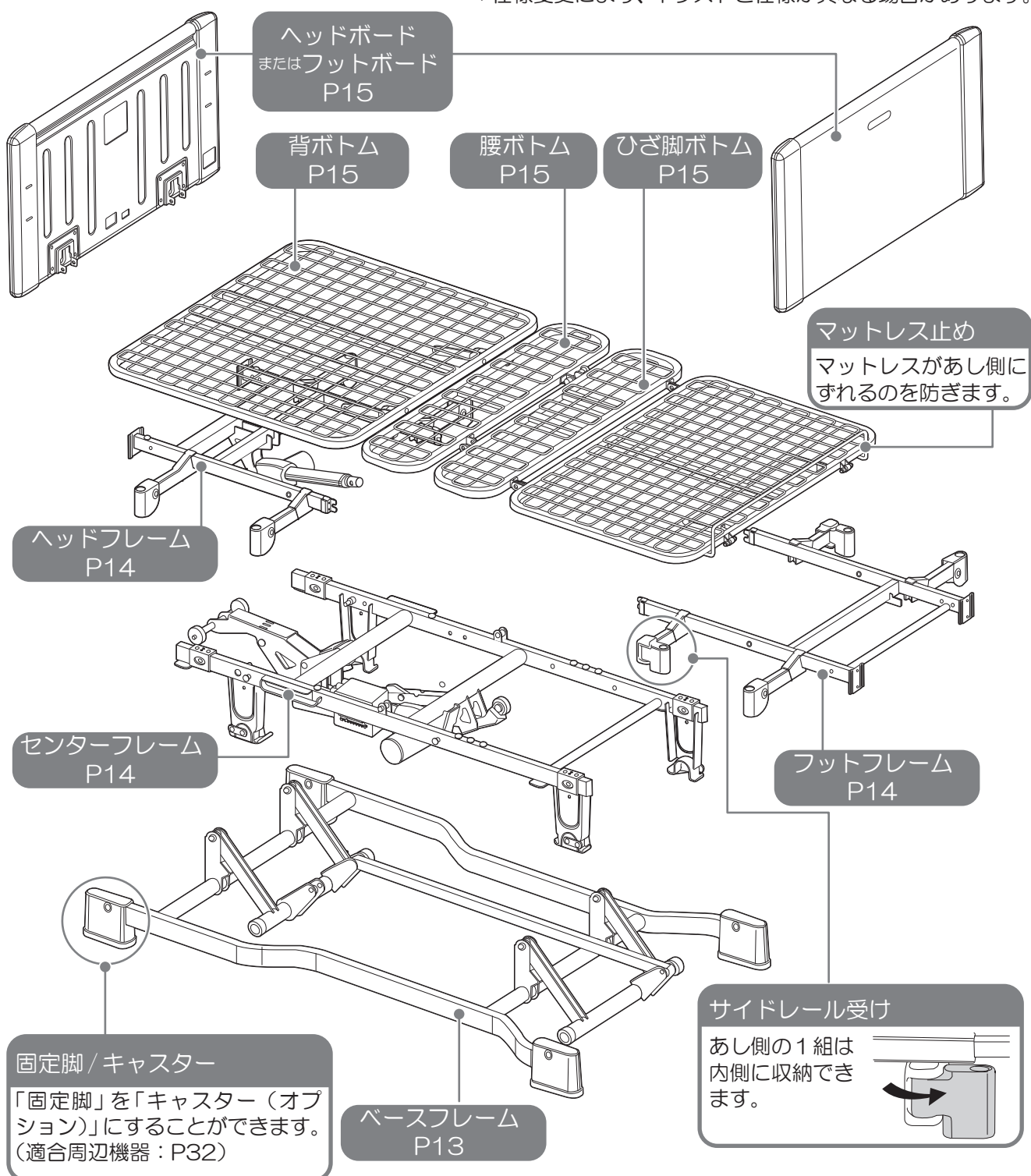
- ヘッドボードやフットボードは、P22を参照して取り外してください。

手元スイッチ…P23

- ベッドの操作をおこなうことができます。
- 上部のフックでサイドレールやボードに引っ掛けることができます。

	2モーターベッド	3モーターベッド
対応ベッド	P106-2KAK	P106-3KAK
手元スイッチ 外観		

*仕様変更により、イラストと仕様が変わる場合があります。



*イラストはレギュラータイプ2モーターベッド

安全のために

各部のなまえとはたらき

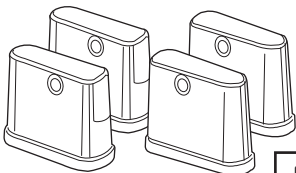
●商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、また、破損していないか下記欄へチェックをしながら確認をしてください。万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。

(例)

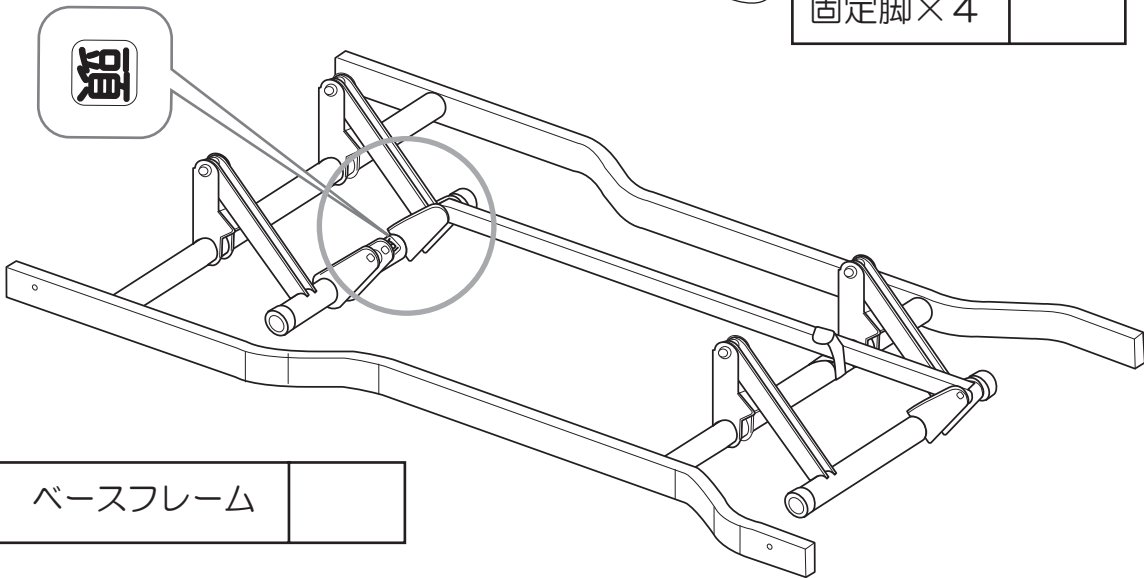
固定脚× 4



ベースフレーム
PP106-ZKZ-1/5
梱包(1/5)
全機種共通



固定脚× 4



ベースフレーム



取扱説明書
〈保証書付〉(本書)

組み立てに必要な部品が入っています。
1/5 梱包以外の組み立てにも必要です。

付属部品

マットレスストッパー		× 2	
プッシュリベット		× 4	
ノブボルト		× 4	
根角ピン(短)		× 1	
根角ピン(長)		× 1	
ロックプレート		× 4	
割りピン		× 6	
抜け止めスナップピン		× 2	
セーフティーロックキー		× 1	

確認してください

ベースフレーム(1/5)

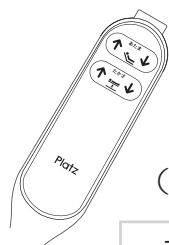
開梱と部品の確認

確認してください

ヘッドフレーム・フットフレーム(3/5)
センターフレーム(2/5)

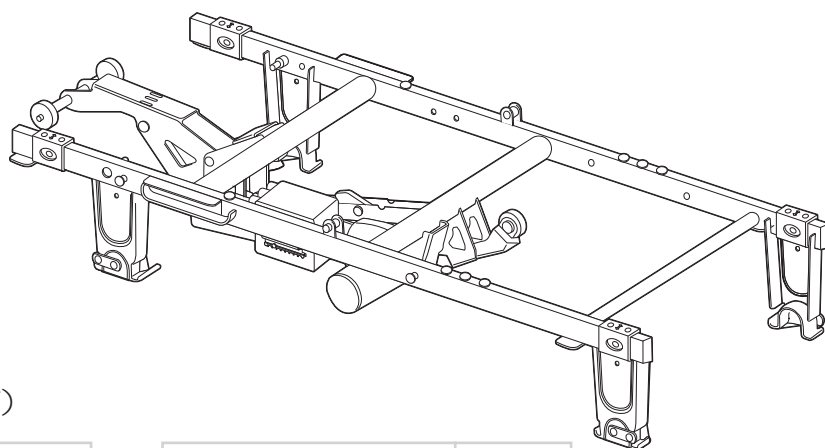
開梱と部品の確認

センターフレーム
PP106-2KZ-2/5
梱包(2/5)
2モーターベッド



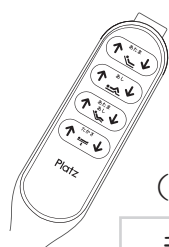
2モーターベッド
(P106-2Kシリーズ)

手元スイッチ



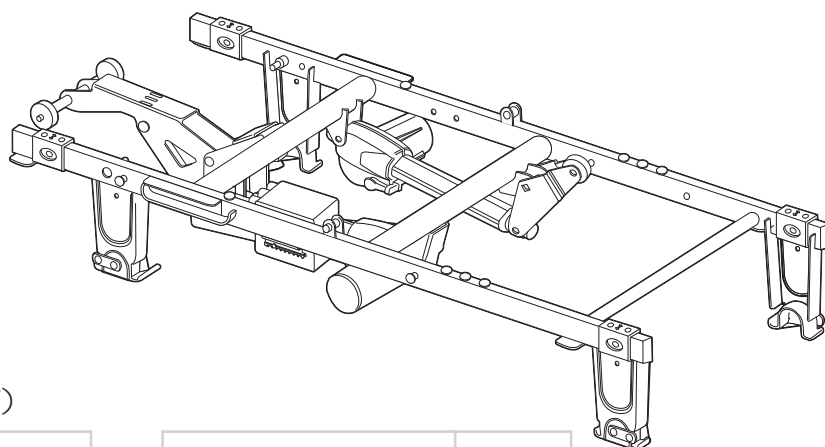
センターフレーム

センターフレーム
PP106-3KZ-2/5
梱包(2/5)
3モーターベッド



3モーターベッド
(P106-3Kシリーズ)

手元スイッチ

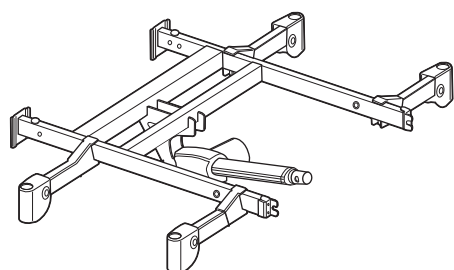


センターフレーム

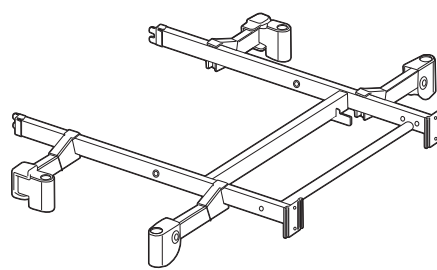
ヘッドフレーム・フットフレーム
レギュラータイプ: PP106-BKZ-3/5
梱包(3/5)

< 90 cm幅専用 >

● 2モーターベッド / 3モーターベッド用



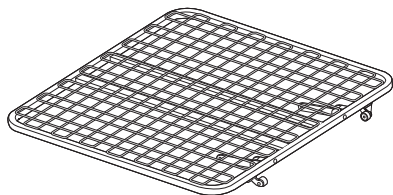
ヘッドフレーム



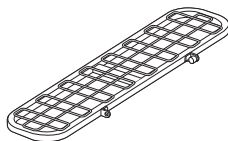
フットフレーム

背ボトム・腰ボトム・ひざ脚ボトム
レギュラータイプ：PP106-ZKZ-4/5
梱包(4/5)

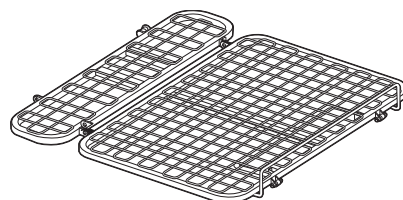
<90cm幅専用>
・2モーターベッド／3モーターベッド用



背ボトム



腰ボトム



ひざ脚ボトム

※ひざボトムと脚ボトムは一体です。

樹脂ヘッドボード・ヘッドボード

PP106-AKZ-5/5
梱包(5/5)

ヘッドボード×2

ピンの
色
について

黒 黒色のピンは取り外ししません。

銀 銀色のピンは取り外します。



注意

組み立ての際に、手や指をはさまないようにご注意ください。

ベッドの組み立てかた

1

ベースフレーム 梱包(1/5)

ベースフレームを準備します。
あたま側、あし側の位置を確認してください。

連結バーの固定テープを外してください。

同梱している付属部品から部品を取り出してください。
図のようにして固定脚を取り付けてください。

あたま側

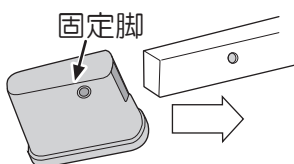
あし側

図

図

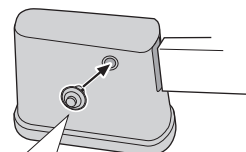
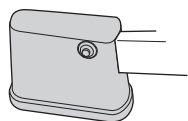
連結バーの固定テープを外してください。

①ベースフレームに固定脚を
しっかり挿し込みます。



②固定脚の穴に外側から
プッシュリベットを挿
してベースフレームに
取り付けます。

③4箇所に取り付けます。



プッシュリベットは、カ
チッと音がするまでA部
を押し込んでください。

●プッシュリベットの取り外しかた
カチッと音がするまでA部
を更に押し込んでください。
固定が解除されますので、
そのまま抜いてください。



再度取り付ける際は、A部
を矢印方向へ押し出して
ください。



※指で押し込めない場合は、押し込みすぎないように注意してドライバー
などで軽く押し込んでください。

オプションについて

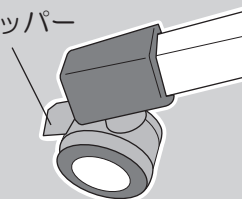
キャスター仕様

専用キャスターを取り付けてキャスター仕様
にすることができます。

適合周辺機器 (P32) をご覧ください。

取り付けかたは、キャスターセット同梱の取
扱説明書をご覧ください。

ストッパー

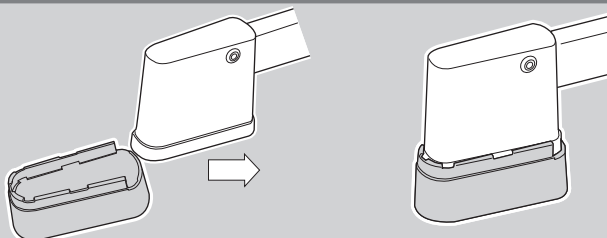


※キャスター仕様でベッドを
移動するときはストッパー
を解除してください。
移動するとき以外はストッ
パーをロックしてください。

ハイトスペーサー仕様

床面を上げるためのハイトスペーサー (オプ
ション) を取り付けることができます。

適合周辺機器 (P32) をご覧ください。



組み立てかた

ベースフレーム(1/5)

2-1

センターフレーム
梱包(2/5)

センターフレームをベースフレームに取り付けます。

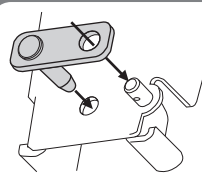
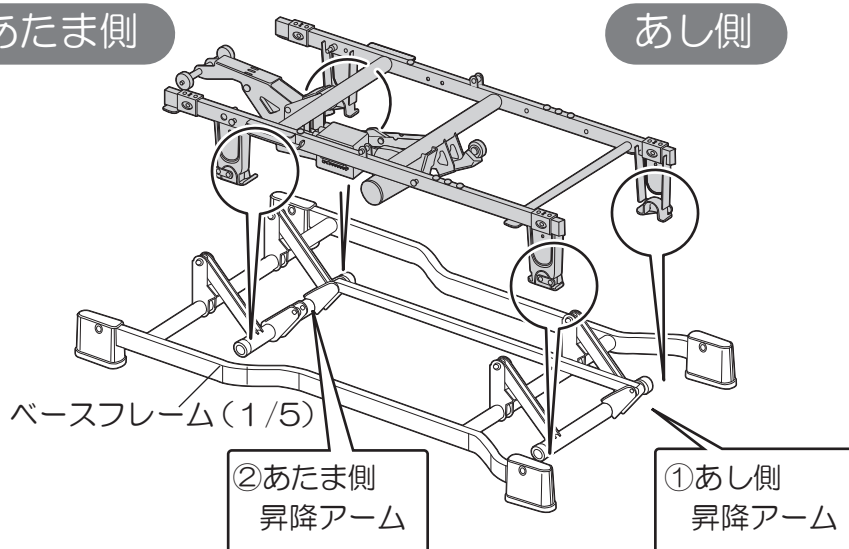
- ①センターフレームのあし側2箇所をベースフレームの昇降アーム両端に載せてください。
- ②センターフレームのあたま側2箇所をベースフレームの昇降アーム両端に載せてください。
- ③センターフレーム・ベースフレームの4箇所にロックプレートを図のように取り付けてください。

⚠ 警告

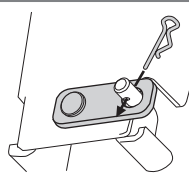
ロックプレート、割りピンを付け忘れると転倒する恐れがあり危険です。

あたま側

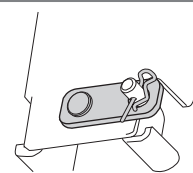
あし側



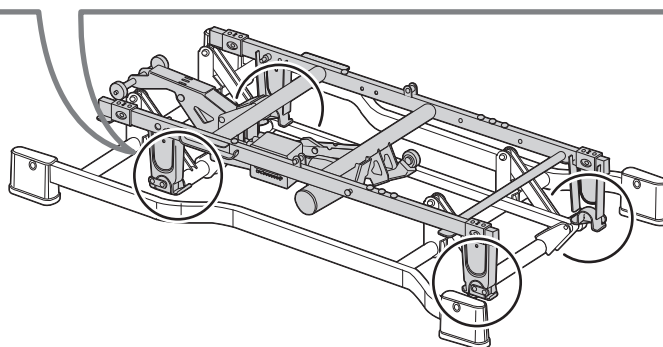
- ③-1
ロックプレートを図のように取り付けます。



- ③-2
割りピンを挿し込みます。



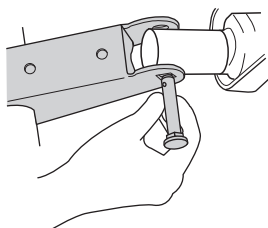
- ③-3
4箇所とも図のように取り付けられていることを確認してください。



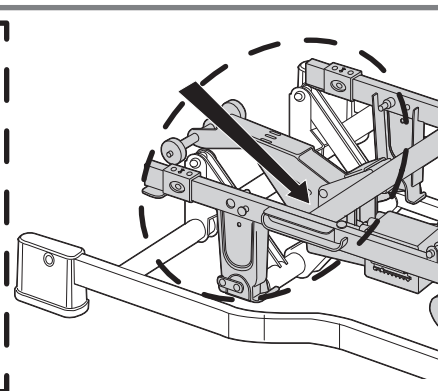
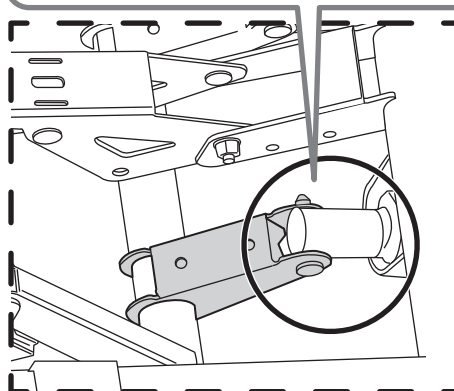
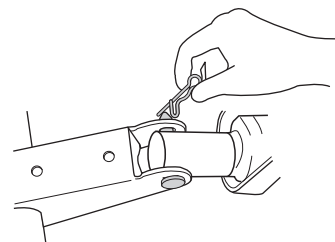
2-2

昇降モーターを根角ピン(短)で取り付けます。

- ①昇降モーターの穴に根角ピン(短)を通します。



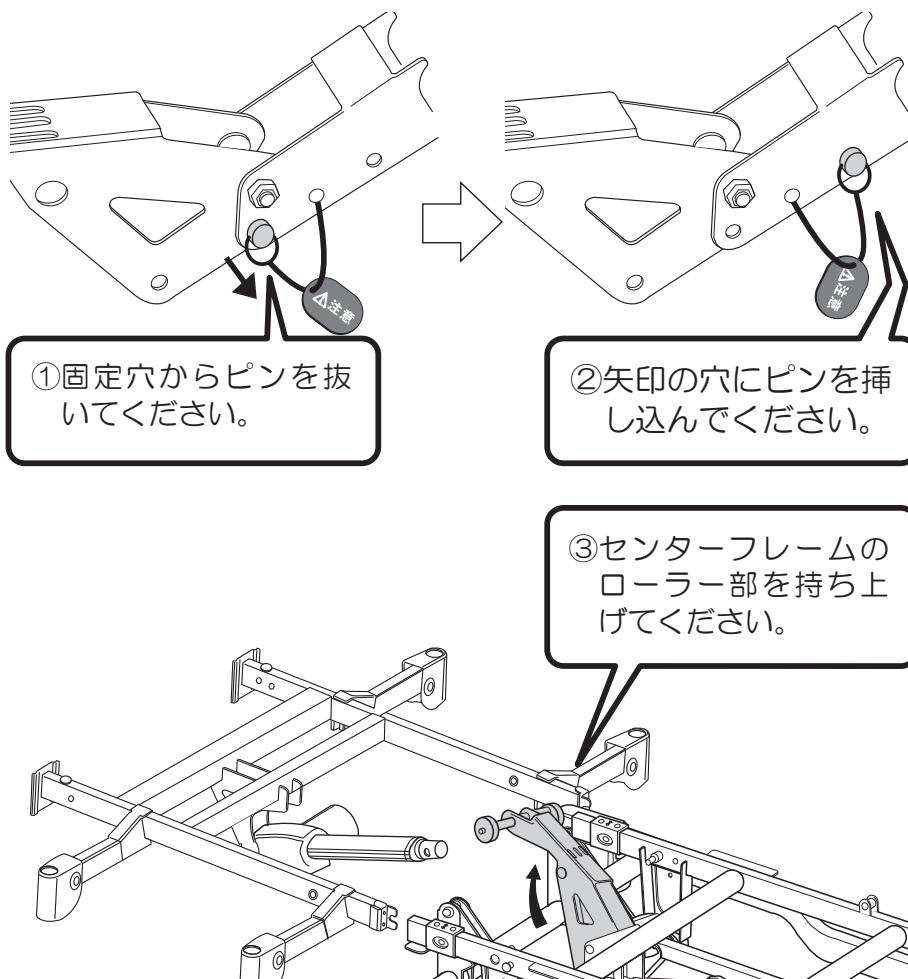
- ②ピンの穴に抜け止めスナップピンを挿します。



3-1

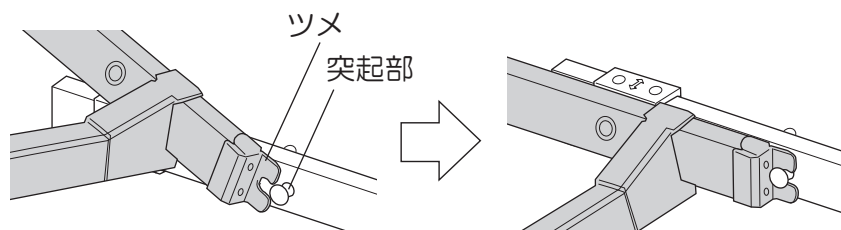
ヘッドフレーム 梱包 (3/5)

- ①センターフレームのローラー部はピンでロックされています。
- ②ピンを図の矢印の穴に差し替えてください。
- ③センターフレームのローラー部を持ち上げてください。

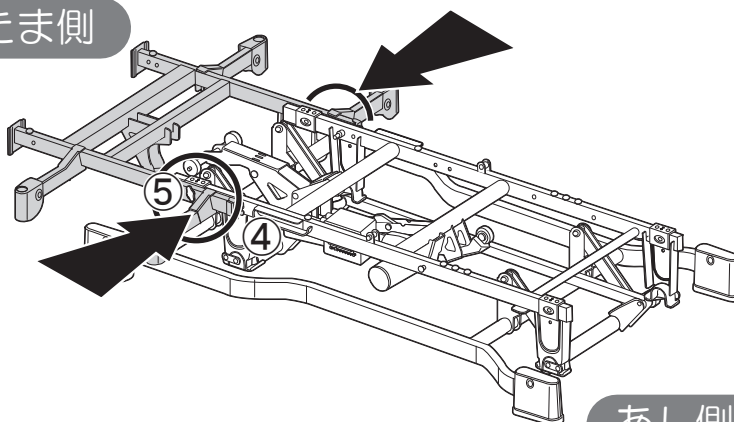


ヘッドフレームを
センターフレームの
あたま側に
取り付けます。

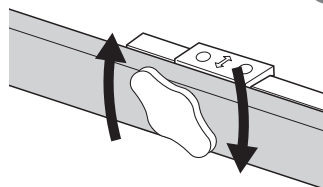
- ④センターフレームの突起部にヘッドフレームのツメを引っ掛けます。



あたま側



- ⑤両側からノブボルトでしっかり締め付けます。



警告

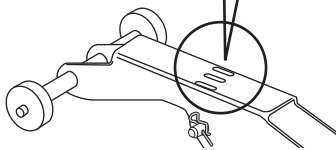
両側からしっかり締め付けていることを確認してください。

3-2

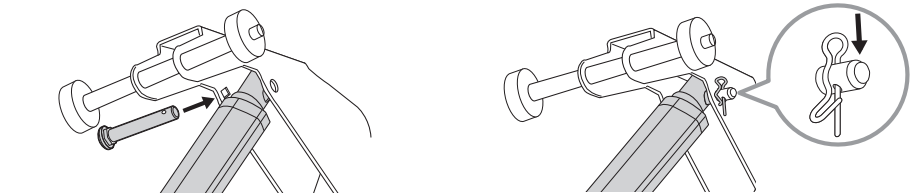
ヘッドフレーム 梱包 (3/5)

背モーター先端部をセンターフレームのローラー部に取り付けてください。

この「スリット」で確認しながらおこなうとスムーズに取り付けできます。



背モーターコードを電源部に挿し込んでください。

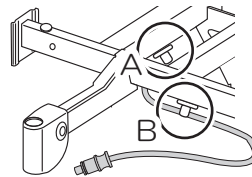


①持ち上げていたローラー部を下します。

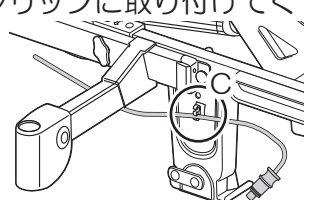
ローラー部とモーター先端部の穴を合わせ付属の根角ピン(長)を挿し込んでください。

②挿し込んだ根角ピン(長)の先端に抜け止めスナップピンを挿し込んでください。

③背モーターコードをAのコードクリップから全て、Bからは片側のみ外して、図の様にしてください。



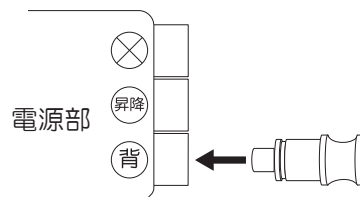
④外した背モーターコードをCのコードクリップに取り付けてください。



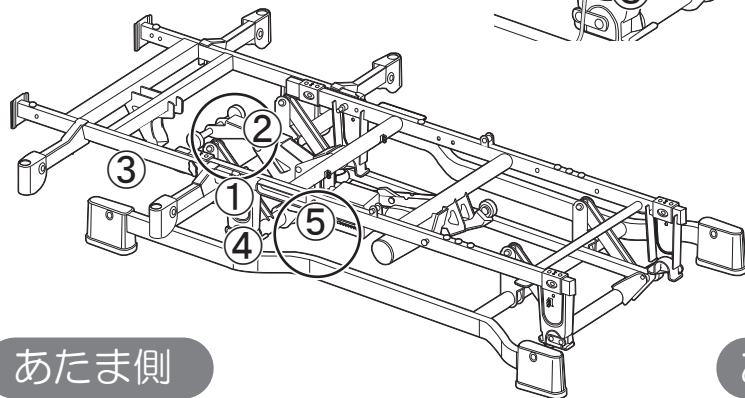
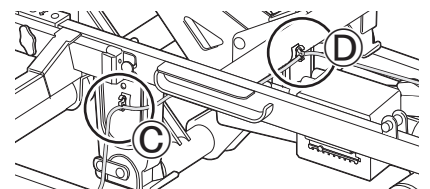
⑤背モーターコードを電源部にしっかり挿し込んでください。

⑥手元スイッチコードをCとDのコードクリップに取付けてください。

※反対方向に取り回す場合は、「P26コードの取り回し」を参照してください。



上図は2モーター用



あたま側

あし側

3-3

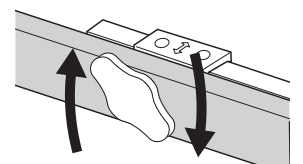
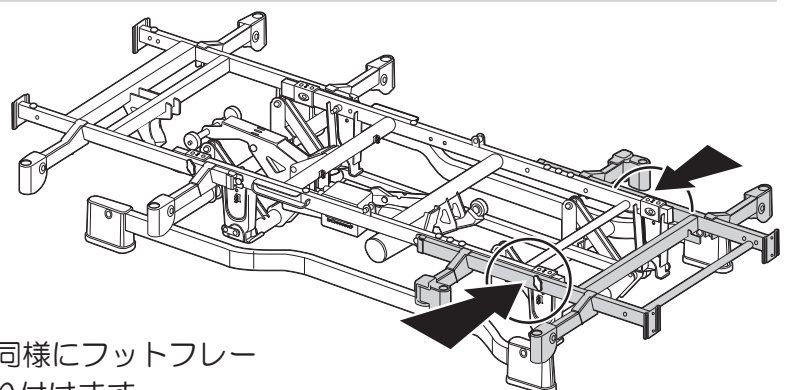
フットフレーム 梱包 (3/5)

⚠ 警告

両側からしっかり締め付けていることを確認してください。

3-1と同様にフットフレームも取り付けます。

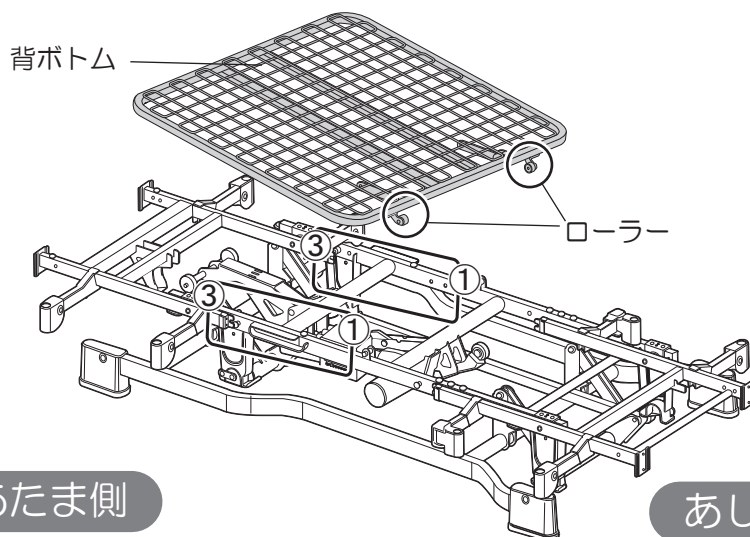
両側からノブボルトでしっかり締め付けます。



4-1

背ボトム 梱包(4/5)

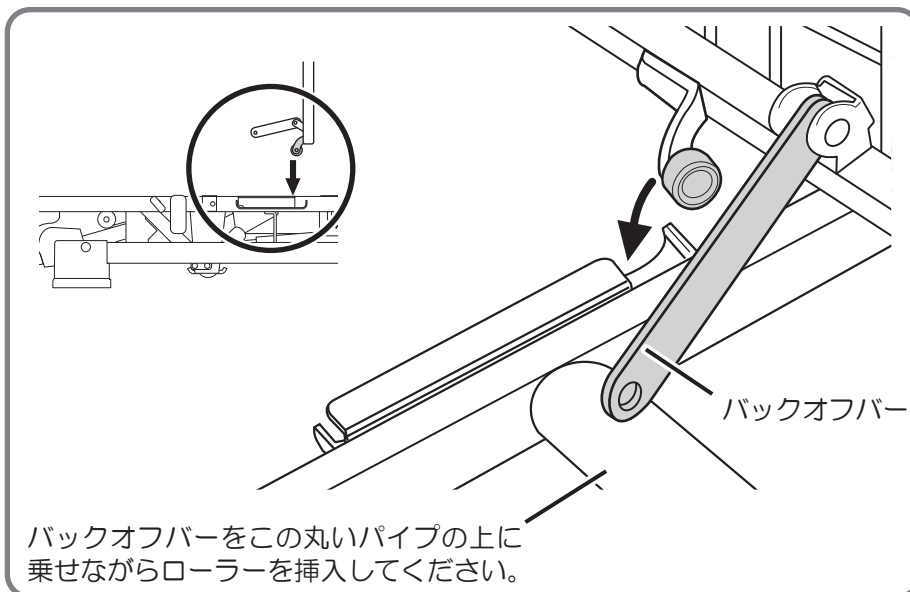
センターフレームに背ボトムを取り付けます。



あたま側

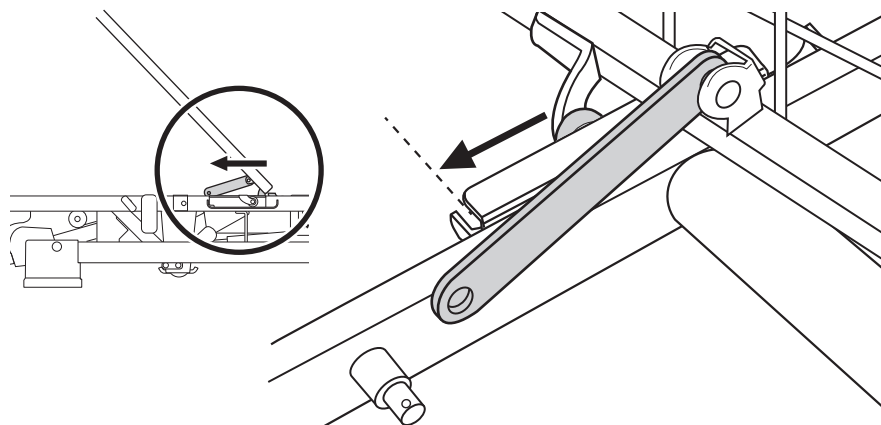
あし側

- ①背ボトムのローラーをローラーガイドに挿入します。



- ②背ボトムを矢印方向に動かしながら突起部にバックオフバーを取り付け割りピンを挿し込んでください。

反対側のバックオフバーも同じように取り付けてください。

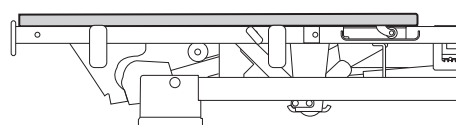


背ボトムのバックオフバーを突起部に挿し込み、割りピンを挿し込んでください。

⚠ 確認

背ボトムがしっかり取り付けられているか確認してください。

- ③背ボトムを倒してください。



4-2

腰ボトム 梱包 (4/5)

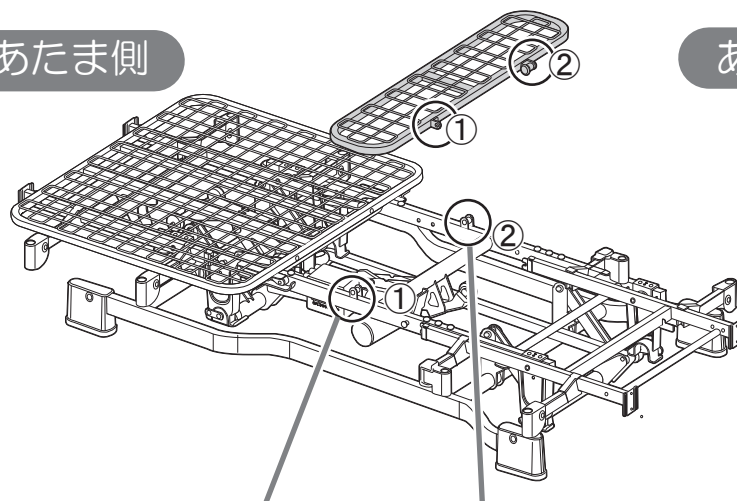
腰ボトムを取り付けます。

⚠ 確認

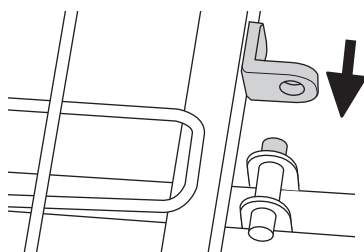
腰ボトムがしっかり取り付けられているか確認してください。

あたま側

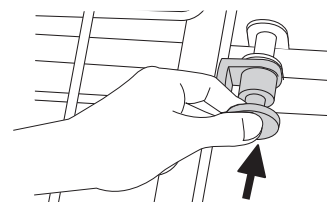
あし側



①腰ボトムの穴を、センターフレームの突起部に挿し込みます。



②腰ボトムのロックピンを引っ張りながら、センターフレームの穴に挿し込みます。



4-3

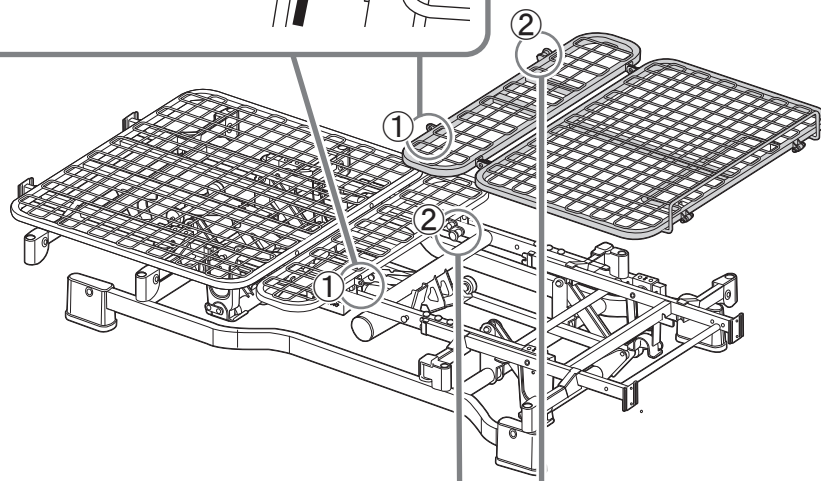
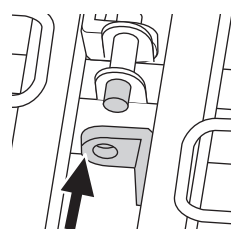
ひざ脚ボトム 梱包 (4/5)

ひざ脚ボトムを取り付けます。

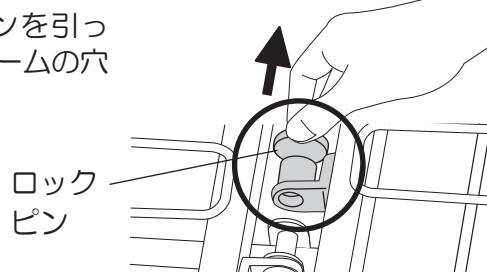
⚠ 確認

ひざ脚ボトムがしっかり取り付けられているか確認してください。

①ひざ脚ボトムの穴を、センターフレームの突起部に挿し込みます。



②ひざ脚ボトムのロックピンを引っ張りながら、センターフレームの穴に挿し込みます。



5-1

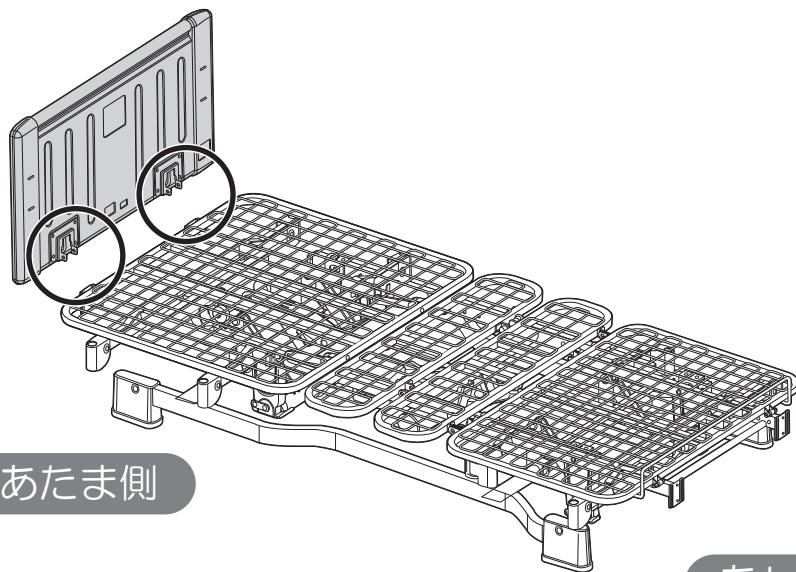
ヘッドボード・フットボード またはヘッドボード 梱包 (5/5)

ヘッドボードを取り付けます。

- ①ヘッドボードを真上から取り付け部へ差し込みます。

取り付け部

- ②本体に付いているピンをヘッドボードにしっかり差し込んでください。
※2箇所とも差し込んでください。



あたま側

あし側

5-2

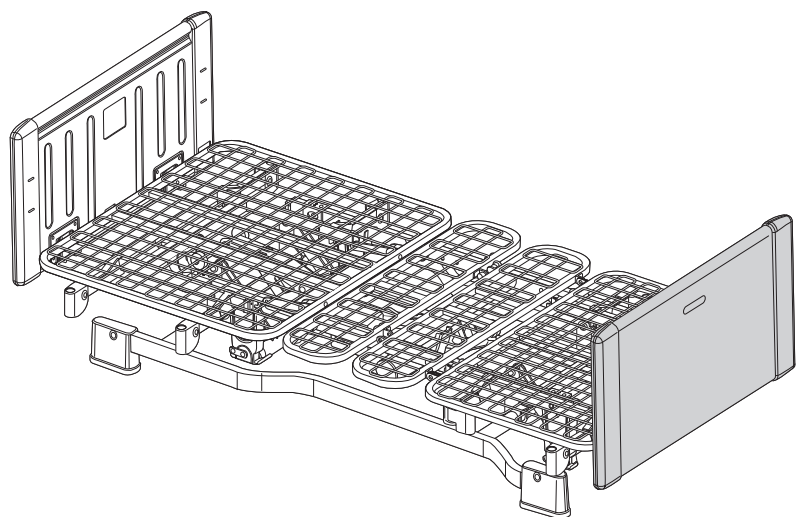
同様に、あし側にもフットボードまたはヘッドボードを取り付けます。

⚠ 確認

ヘッドボードやフットボードのピンが、しっかり差し込まれているか確認してください。

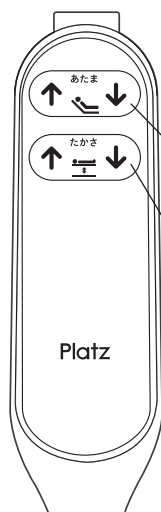
マットレスストッパーの取り付けかたはP27をご覧ください。

※ベッドの分解方法は、組み立て方法を参照に逆の手順でおこなってください。



手元スイッチ

2 モーターベッド (P106-2K シリーズ)



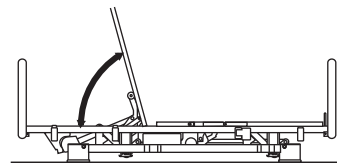
あたまボタン

背ボトムの角度を 70° 、ひざ角度を 22° まで無段階に調整できます。

※下記参照ページもご覧ください。

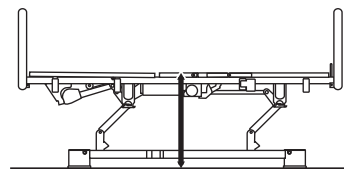
●ライジングモーション：P24

●背のみ / 背あし連動：P25

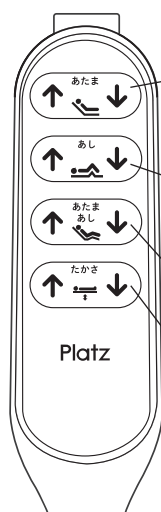


高さボタン

床面高さを 25 ～ 59 cm まで無段階に調整できます。



3 モーターベッド (P106-3K シリーズ)

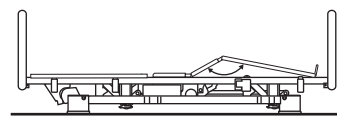


あたまボタン

背ボトムの角度を 70° まで無段階に調整できます。

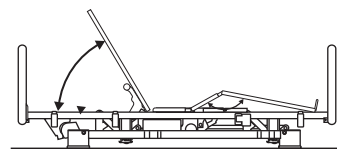
あしボタン

ひざボトム角度を 18° まで無段階に調整できます。



あたま あしボタン

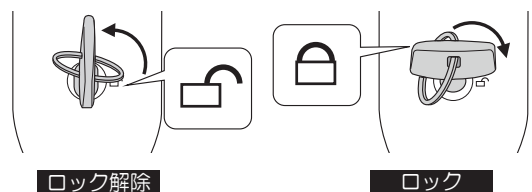
背ボトム・ひざボトムの角度を同時に調整できます。



高さボタン

床面高さを 25 ～ 59 cm まで無段階に調整できます。

ロックボタン 手元スイッチ裏面に、ロック機能の操作部があります。セーフティーロックキーを使って操作をロックできます。



警告

！ ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いてください。誤操作による事故の恐れがあります。

！ 操作は必ずベッドに寝た状態でおこなってください。ベッドに立った状態や座った状態での操作は怪我をする恐れがあり危険です。

⊘ 2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。手元スイッチやモーターの故障の原因になります。

ライジングモーション



警告



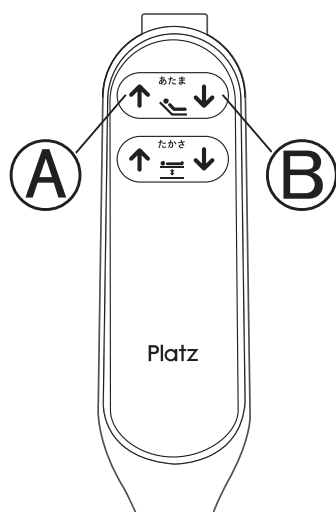
ベッドを一定期間使用しない場合や、介助者が長時間ベッドから離れる場合は、電源プラグを抜いてください。誤操作による事故の恐れがあります。

ライジングモーションの説明（2モーターベッド）

ライジング
モーションの
目的

どの角度においても背とひざの角度は90度以上のため、腹部
圧迫を軽減します。

※特殊なリクライニング動作で背上げ時のお尻のズレを防止します。



背を上げる場合

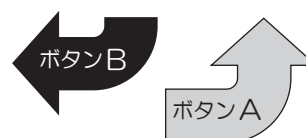
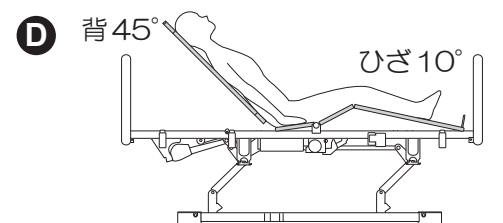
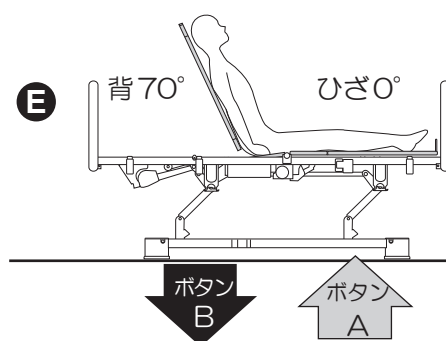
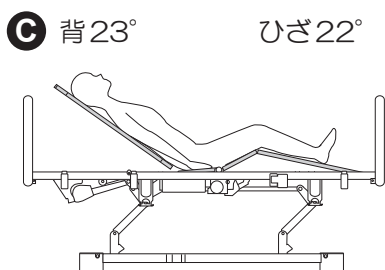
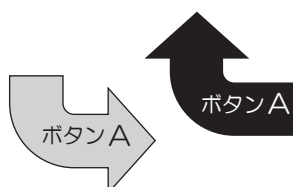
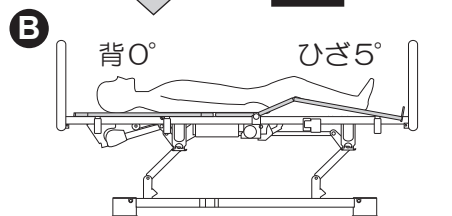
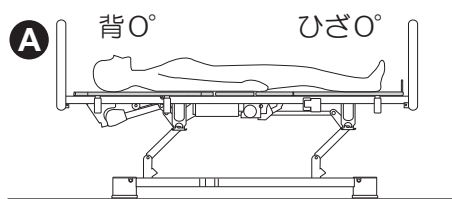
ボタンAを押し続けることにより

- ①ひざが上がりはじめます。(図B)
- ②ひざが22°、背が23°になるまで上がり続けます。(図C)
- ③その後ひざが下がりはじめ、背が上がり続けます。(図D)
- ④ひざが下がります。(図E)

背を下げる場合

ボタンBを押し続けることにより

- ①背が下がりはじめ、次にひざが上がりはじめます。(図D)
- ②ひざは22°になるまで上がり、背が23°になるまで下がり続けます。(図C)
- ③背とひざが下がり、先に背が水平になります。(図B)
- ④ひざも水平になります。(図A)



使
い
か
た

ライ
ジ
ン
グ
モ
ー
シ
ョ
ン

ライジングモーション 背あし連動 / 背のみ の切り替え

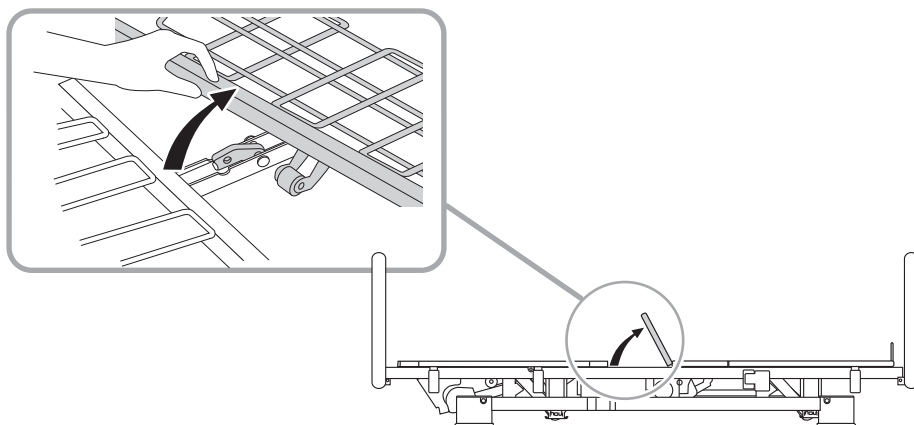
背あし連動



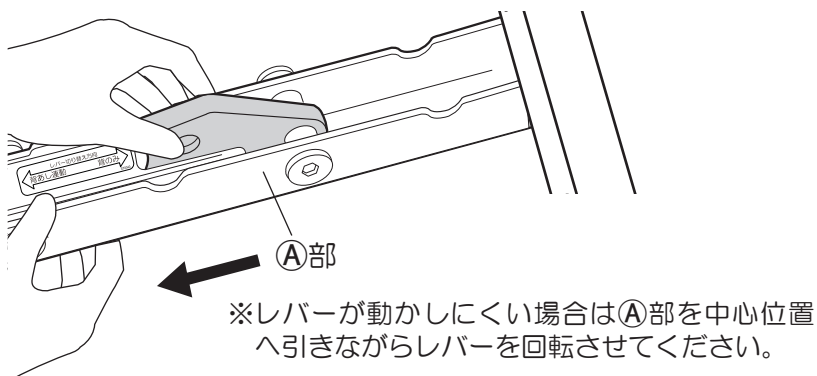
背のみ

レバー操作で切り替えることができます。

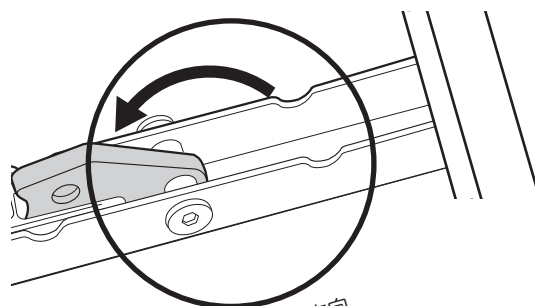
- ①手元スイッチを使い背ボトム、脚ボトムを完全に下げます。
- ②電源コードを抜きます。
- ③手で腰ボトムを上げてください。



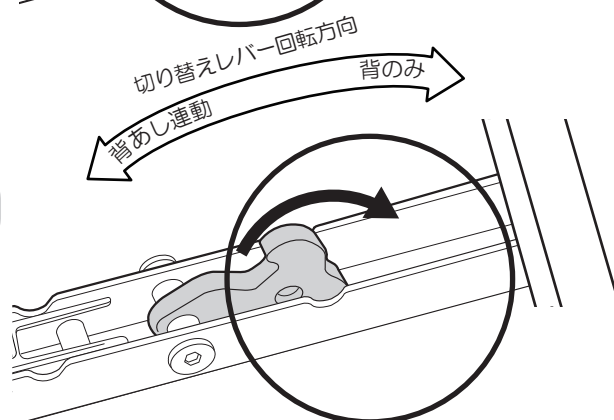
- ④「背あし連動」か「背のみ」を選び、選んだ方へつまんだレバーが止まるまで倒します。



背あし連動



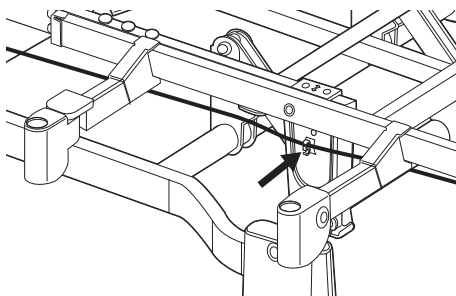
背のみ



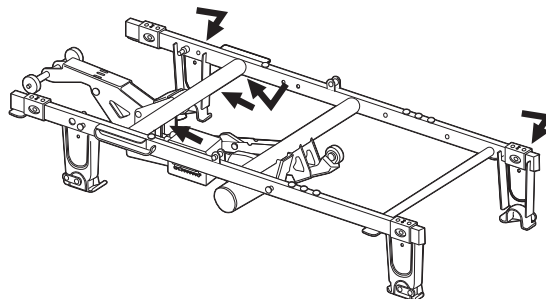
- ⑤腰ボトムを戻し、電源コードを挿してください。
- ⑥手元スイッチを操作し、選んだ方に動くようになったかを確認してください。

コードの取り回し

- ①電源コードを下図のコードクリップに取り付けてください。



- ②センターフレーム(2/5)の下図箇所に“コードクリップ”があります。適当な場所のコードクリップにコードを通してお使いください。



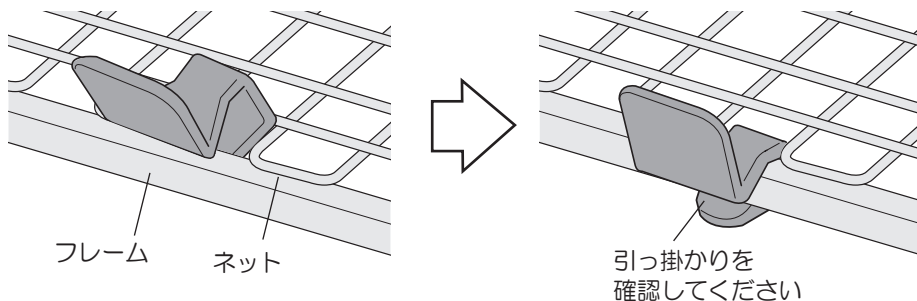
マットレスストッパーの取り付けかた

マットレスストッパーの目的

本商品はベッドに乗り降りする際のマットレスの横ずれを防止する物です。図のように、乗り降りする側の中央部以外の部分に装着してください。

取り付けかた

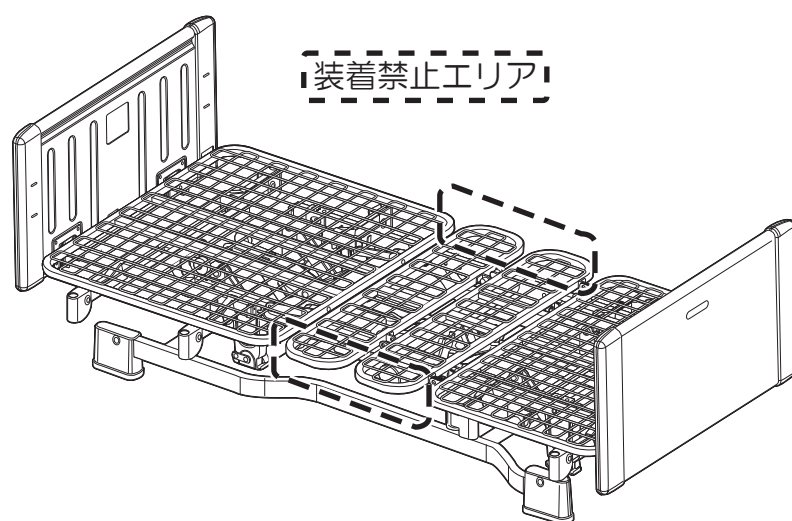
- ① ネットの間にマットレスストッパーを入れて、フレームに装着します。



- ② マットレスストッパーの奥まで、確実にフレームに取り付けてください。

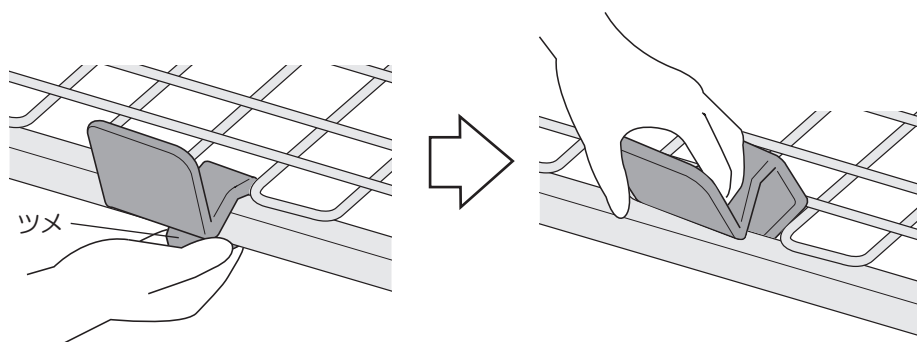
⚠ 確認

しっかり取り付けられているか確認してください。



外しかた

ツメを下に押しながら外します。



※ ネットとの間に指をはさまないように注意してください。

⚠ 警告

- 上記装着禁止エリアには装着しないでください。
マットレスストッパーは、乗り降りする中央部（腰ボトム部）に装着すると、座った場合などお尻や大腿部を傷付けることがあります。
- サイドレールやベッド用グリップの装着位置への取り付けは、ベッド操作時に本品とサイドレールやベッド用グリップの間隙が狭くなり指はさみを起こす恐れがあるため、おすすめできません。

サイドレール

隙間に注意

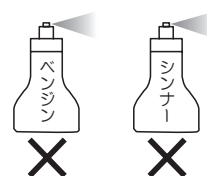
マットレスストッパー

1. 本体について

お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源プラグとバッテリーケーブルを抜いておこなってください。
 - 商品のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
清拭する場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞って拭き、その後水に浸した布をよく絞って残った洗剤分を拭き取ってください。
最後に乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 - 商品を水で濡らしたり、ベンジン・シンナー・オイル類・粉末洗剤などを使用しないでください。故障・ひび割れ・サビや感電、火災の原因になり危険です。
 - ベッドを踏み台代わりに使用しないでください。
 - ベッドの下は非常にホコリが溜まりやすくなっています。
こまめにお掃除してください。
 - モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除してください。
またその時モーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認ください。
 - 電源プラグにホコリが溜まらないよう、こまめにお掃除してください。
 - 消毒する場合は下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

・消毒用エタノール	76.9-81.4%	・塩化ベンゼトニウム	0.05-0.2%
・塩化ベンザルコニウム	0.05-0.2%	・グルコン酸クロルヘキシジン	0.05%
・次亜塩素酸ナトリウム	0.02-0.05%		
- ※別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。



点検

- 点検前に電源プラグを抜いてください。
各部分のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？
- モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？
- コード類にキズなどありませんか？
- 誤作動、異音がありませんか？
- キャスターや樹脂部品に亀裂や破損がありませんか？
- ボードがしっかりと取り付けられていますか？

2. 周辺機器について

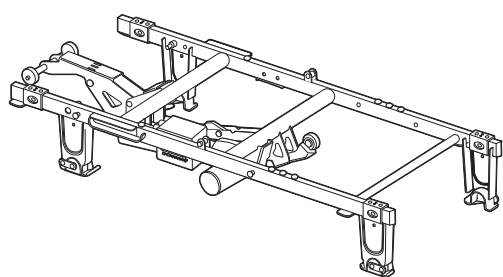
- 各種周辺機器の取扱説明書の指示に従ってください。

2モーターから3モーターへ

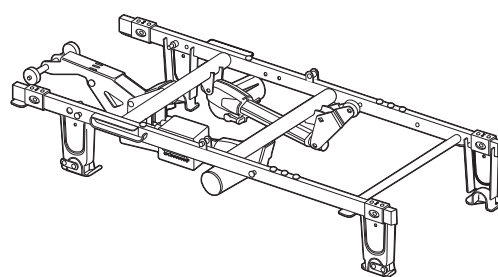
2モーター
(P106-2Kシリーズ) から
3モーター(P106-3Kシリーズ) への変更。

交換が必要なもの：
◆3モーター用
センターフレーム2/5

- ①「組み立てかた」のページを参照し逆の手順で、2モーター (P106-2Kシリーズ) センターフレーム 2/5を取り外します。
- ②「組み立てかた」のページを参照して3モーター (P106-3Kシリーズ) センターフレーム2/5を取り付けて組み立てます。



2モーター (P106-2Kシリーズ)
センターフレーム2/5



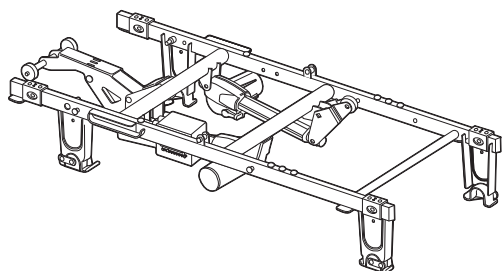
3モーター (P106-3Kシリーズ)
センターフレーム2/5

3モーターから2モーターへ

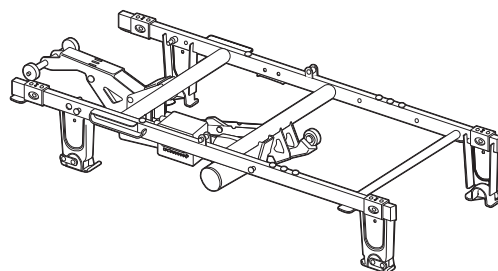
3モーター
(P106-3Kシリーズ) から
2モーター (P106-2Kシリーズ) への変更。

交換が必要なもの：
◆2モーター用
センターフレーム2/5

- ①「組み立てかた」のページを参照し逆の手順で、3モーター (P106-3Kシリーズ) センターフレーム 2/5を取り外します。
- ②「組み立てかた」のページを参照して2モーター (P106-2Kシリーズ) センターフレーム2/5を取り付けて組み立てます。

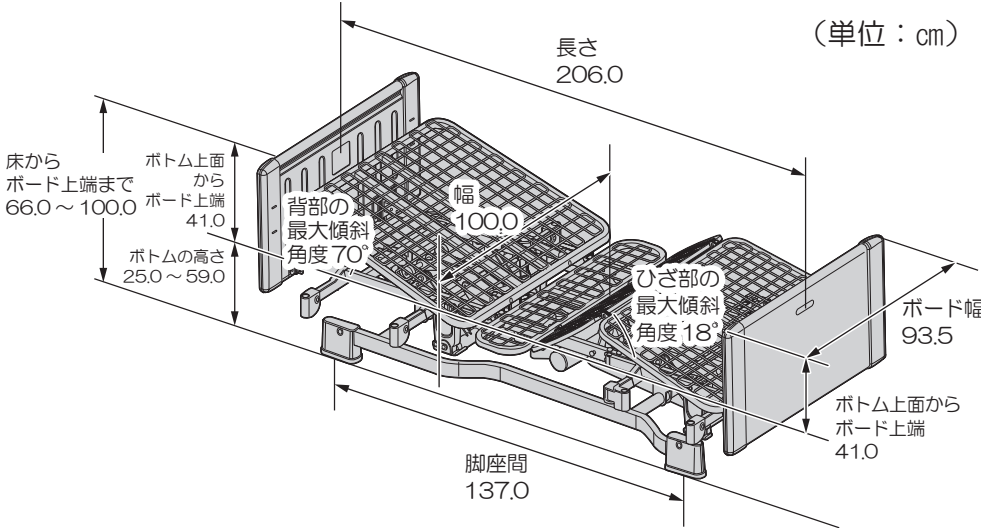


3モーター (P106-3Kシリーズ)
センターフレーム2/5



2モーター (P106-2Kシリーズ)
センターフレーム2/5

型 式	P106-2KAK（レギュラー）		
商品名	2 モーターベッド 〈90 cm幅〉		
ベッド寸法	（単位：cm） 長さ 206.0 幅 100.0 脚座間 137.0 床からボード上端まで 66.0～100.0 ボトム上面からボード上端 41.0 ボトムの高さ 25.0～59.0 背部の最大傾斜角度 70° ひざ部の最大傾斜角度 22° ボード幅 93.5 ボトム上面からボード上端 41.0		
商品質量	(1/5)：ベースフレーム (2/5)：センターフレーム (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム (4/5)：背ボトム、腰ボトム、ひざ脚ボトム (5/5)：樹脂ヘッドボード×2枚	17.5 kg 16.0 kg 15.5 kg 18.0 kg 10.0 kg	商品質量合計 P106-2KAK：77.0 kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5)：151.0×88.5×23.0 (cm) (2/5)：138.0×66.5×25.0 (cm) (3/5)：107.5×84.0×25.5 (cm) (4/5)：95.0×93.0×12.0 (cm) (5/5)：95.5×54.0×12.0 (cm)	21.0 kg 20.5 kg 19.5 kg 22.5 kg 12.0 kg	
材 質	本体ユニット：スチール、ABS、PP 樹脂ボード：PE		
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動 / 背単独） 背上げ角度（0°～70°）、ひざ上げ角度（0°～22°）、昇降（床面高25～59cm）		
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式		
騒音試験結果	50dB (A)		
定格電圧	AC 100V、50/60Hz		
定格消費電力	150W		
最大使用者体重	138 kg / 安全使用荷重：1700N		
原産国	ベトナム		

型 式	P106-3KAK (レギュラー)		
商品名	3 モーターベッド 〈90 cm幅〉		
ベッド寸法			
商品質量	(1/5) : ベースフレーム (2/5) : センターフレーム (3/5) : ヘッドフレーム、フットフレーム (4/5) : 背ボトム、腰ボトム、ひざ脚ボトム (5/5) : 樹脂ヘッドボード×2枚	17.5 kg 17.0 kg 15.5 kg 18.0 kg 10.0 kg	商品質量合計 P106-3KAK : 78.0 kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5) : 151.0 × 88.5 × 23.0 (cm) (2/5) : 138.0 × 66.5 × 25.0 (cm) (3/5) : 107.5 × 84.0 × 25.5 (cm) (4/5) : 95.0 × 93.0 × 12.0 (cm) (5/5) : 95.5 × 54.0 × 15.5 (cm)	21.0 kg 21.5 kg 19.5 kg 22.5 kg 12.0 kg	
材 質	本体ユニット : スチール、ABS、PP 樹脂ボード : PE		
電動動作	無段階自在式 背上げ (背ひざ同時連動 / 背単独) 背上げ角度 (0° ~ 70°)、ひざ上げ角度 (0° ~ 22°)、昇降 (床面高 25 ~ 59 cm)		
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式		
騒音試験結果	50dB (A)		
定格電圧	AC 100V、50/60Hz		
定格消費電力	150W		
最大使用者体重	138 kg / 安全使用荷重 : 1700N		
原産国	ベトナム		

90cm幅レギュラータイプ適合周辺機器

サイドレール	PA505-44/PA505-75/PA505-96
ベッド用グリップ	PF500-116/PG02-116AT/PG03-116M
ハンドグリップ	PG04-75
マットレス	適合マットレス : PKM-9080/PKM-E80BR/PD503-A9008/ PM09-A9008/PM11-9009/PM12-9009/ PM18-A9012/PM19-A9012/PM21-A9010/ PM22-A9010/PM23-A9008/PM26-A9008/ PM27-A9008/PM28-A9008/PM29-A9008 もしくは下記サイズ、質量を満たす物 ◆サイズ：幅88～91cm×長さ190～192cm ◆厚 さ：最大18cm以下 最小7cm以上 ◆質 量：34kg以下
オーバーテーブル	PGT-400LM/PT01-A1
サイドテーブル	PZT-840/PT03シリーズ ※固定脚で 사용되는場合はハイトスパーサー PC501-FU45 を装着してください。
床キズ防止 カーペット	PSC-1216SC 床がフローリングなどで滑りやすい材質の場合は、必ず使用して ください。 ベッドが滑り怪我の原因となります。
キャスター	PC503-8CK1
高さ調整用 ハイトスパーサー	PC501-FU45

90
cm
幅
レ
ギ
ュ
ー
ラ
ー
タ
イ
プ

適
合
周
辺
機
器

90cm幅レギュラータ입組み合わせ

2モーター (P106-2K シリーズ)

ベースフレーム	PP106-ZKZ-1/5
センターフレーム	PP106-2KZ-2/5
ヘッドフレーム・フットフレーム	PP106-BKZ-3/5
ボトムセット	PP106-ZKZ-4/5
樹脂ボード	PP106-AKZ-5/5

3モーター (P106-3K シリーズ)

ベースフレーム	PP106-ZKZ-1/5
センターフレーム	PP106-3KZ-2/5
ヘッドフレーム・フットフレーム	PP106-BKZ-3/5
ボトムセット	PP106-ZKZ-4/5
樹脂ボード	PP106-AKZ-5/5

レールの組み合わせ (90 cm幅レギュラータイプ)

※レールをベッドで使用される際は、下図の正しい組み合わせ、正しい方向でご使用ください。

下図以外の組み合わせは、誤った組み合わせとなります。誤った組み合わせの状態でご使用になると、意図せぬ隙間の発生により怪我をする恐れがあります。

※レールの組み合わせは、頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

PF500-116 PG02-116AT PG03-116M PA505-75 頭側 3.0cm 3.5cm 3.0cm 足側	PF500-116 PG02-116AT PG03-116M PA505-44 頭側 3.0cm 34.5cm 3.0cm 足側
PF500-116 PG02-116AT PG03-116M PA505-44 頭側 3.0cm 3.5cm 32.5cm 足側	PA505-96 PA505-44 頭側 3.0cm 55.0cm 3.0cm 足側
PA505-96 PA505-96 頭側 3.0cm 3.0cm 3.0cm 足側	PG04-75 PA505-75 PA505-44 頭側 3.0cm 76.0cm 3.0cm 足側
PG04-75 PA505-75 PA505-44 頭側 3.0cm 45.0cm 32.5cm 足側	PG04-75 PG04-75 PA505-75 PA505-75 頭側 3.0cm 45.0cm 3.0cm 足側
PA505-44 PA505-44 頭側 3.0cm 107.0cm 3.0cm 足側	PA505-44 PA505-44 頭側 32.5cm 76.0cm 3.0cm 足側
PA505-44 PA505-44 頭側 32.5cm 45.0cm 32.5cm 足側	

●サイドレール単体で使用する隙間

PF500-116 PG02-116AT PG03-116M 頭側 3.0cm 81.5cm 足側	PA505-96 頭側 3.0cm 102.0cm 足側
PG04-75 PA505-75 頭側 3.0cm 123.0cm 足側	

停電時の背下げ操作方法

停電時に背ボトムを手動で下げる方法です。

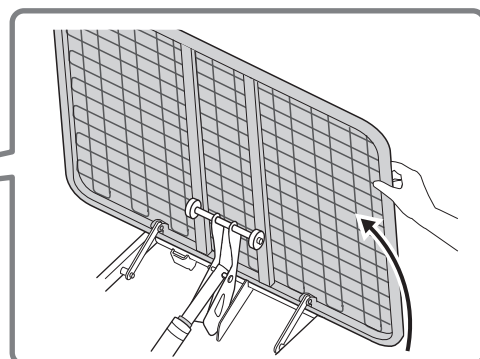
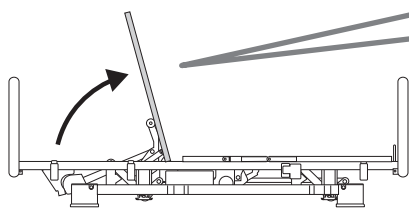
※作業時は、利用者は必ずベッドから降りていただき、作業をおこなってください。

※電源プラグはコンセントから抜いてください。

※安全のため、作業は2人以上でおこなってください。

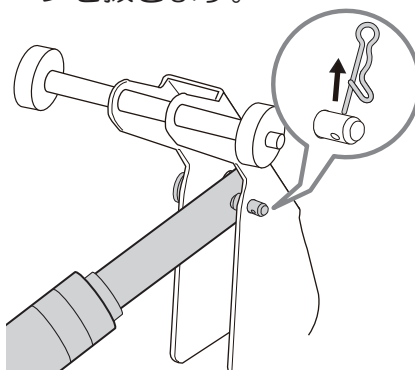
①利用者と寝具をベッドから降ろします。

②背ボトムを手で上げてください。
作業は背ボトムを手で支えておこなってください。

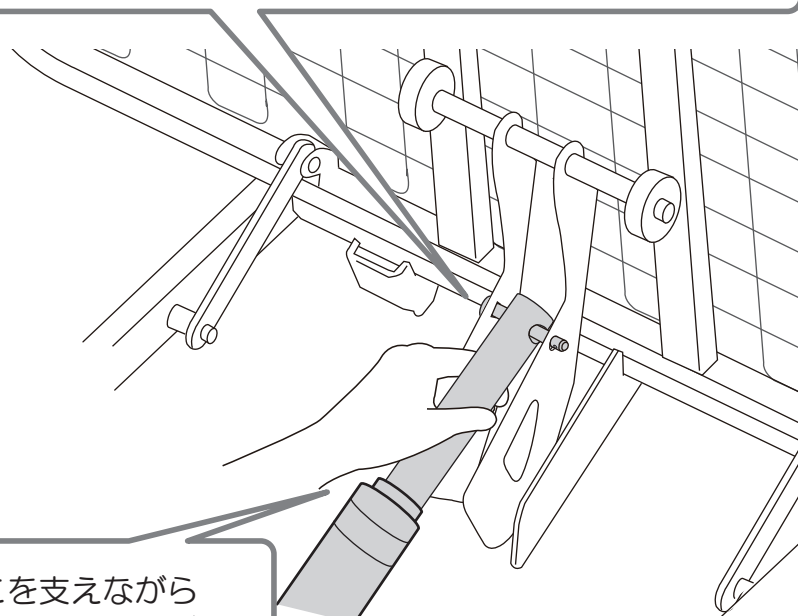
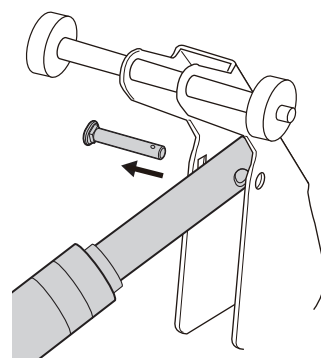


③背上げモーター先端の抜け止めスナップピンとピンを外してください。

ピン先端の穴から
抜け止めスナップピン
を抜きます。



モーターから
ピンを抜きます。



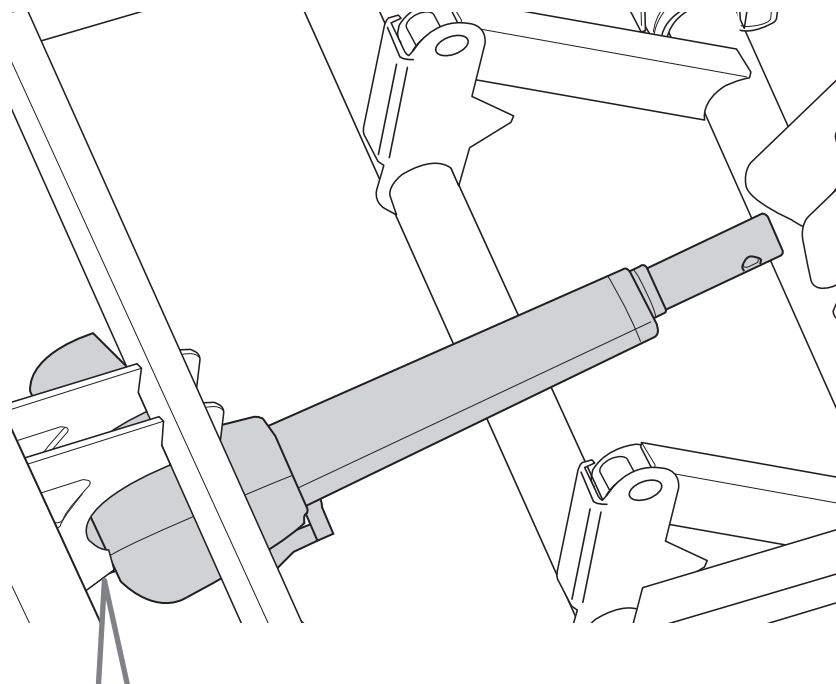
⚠ 警告

安全のため作業は2人以上
でおこなってください。

ここを支えながら
ピンを外してくだ
さい。

停電時の背下げ操作方法

- ④背上げモーター根元側の
抜け止めスナップピンを
取り外し、ピンを抜
いてください。

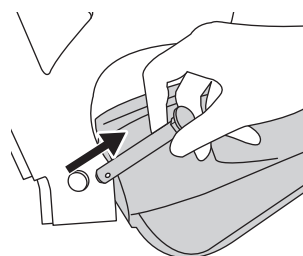
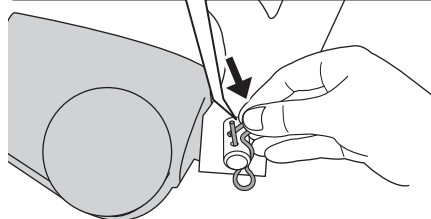


抜け止めスナップピンを取り外します。



抜け止め
スナップピン

ここを斜め下に向かって押
しながら取り外します。



※外れたピンが、勢いよく飛ぶこと
がありますのでご注意ください。

ピンを抜きます
※ピン先端部などで怪我をし
ない様、ご注意ください。

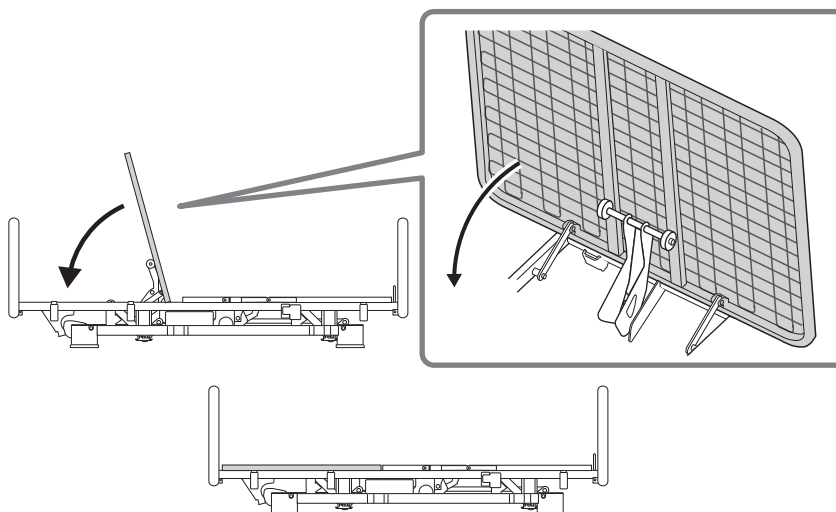
- ⑤背上げモーターをヘッド
フレームから外します。

- ⑥背ボトムを下ろします。



警告

安全のため作業は2人以上
でおこなってください。



電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用ください。
外した抜け止めスナップピンとピンは、背ボトムを元に戻す際に使用しますので保管
しておいてください。

故障について

故障かな…！？商品が動かないときは、下記項目を確認してください

症状	確認していただきたいこと	処置
商品が動かない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント（AC100V）に挿し込んでください
	延長コードのプラグが抜けていませんか？	延長コードのプラグが抜けていないか、延長コードに故障がないかを必ず確認してください
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご相談ください
	手元スイッチ、またはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチ、およびモーターのコネクタの挿込口に挿し込んでください
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを確認してください

保管について

●長期保管

- 長期間ベッドをご使用にならない場合は下記にご注意ください。
- 高温、多湿、低温、乾燥、ほこりの多い場所を避けて保管してください。
 - 取扱説明書は大切に保管してください。

●組み立てた状態でベッドを保管する場合

- 背ボトム、ひざボトムを水平にしてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドを壁に立て掛けたり横倒しにせず、床に水平に置いて保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に保管してください。

●分解してベッドを保管する場合

- ベッドの分解方法は、組み立て方法を参照に逆の手順で行ってください。
- 使用を再開する場合は、取扱説明書に従って正しく組み立ててください。

保証とアフターサービス ※よくお読みください。

保証書について

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、型式・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げ時の送り状などを保管してください。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に、取扱説明書のP37「故障かな？と思ったら」の項目にしたがって確認してください。

それでも直らない場合はお買い上げの販売店、またはフリーアクセスまでご連絡ください。

※修理・お取り扱い、お手入れのご相談は、お買い上げの販売店（裏表紙保証書記載）へご連絡ください。

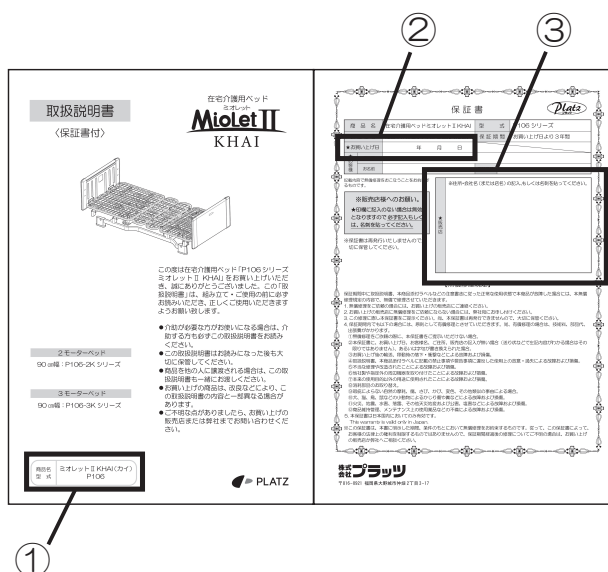
●ご連絡いただきたい内容

- ①商品名および型式（表紙記載）
- ②お買い上げ日（裏表紙保証書記載）
- ③お買い上げの販売店（裏表紙保証書記載）
- ④商品のシリアル番号（S/Nで始まる番号）



※各パーツに貼ってあるシールに記載されています。

- ⑤故障内容（できるだけ詳しく）
- ⑥ご住所 / お名前 / お電話番号



●保証期間について

保証期間は、お買い上げ日から3年間です。保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも有償修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください。

●保証期間を過ぎている場合

修理および部品交換にて対応可能であれば、有償にて修理いたします。

●修理代について

修理代は、部品料、基本出張費、技術料で構成されます。

【部品料】…修理で使用した部品代です。

【基本出張料】…お客様の依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。

【技術料】…商品の診断・故障箇所の修理などの作業にかかる費用です。



アフターサービスのお問い合わせ

0120-77-3433 平日 午前9時～午後5時（土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く）

